

北海道大学工学系教育研究センター

平成 27 年度 活動報告書

資 料 集

平成 28 年 3 月

目 次

《工学系教育研究センター関係 内規・要項・取扱い・申合せ等》

- 1- 1 北海道大学大学院工学研究院組織運営内規
- 1- 2 北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター内規
- 1- 3 工学系教育研究センター外部評価委員会内規

- 1- 4 インターンシップ研修生受入れに関する申合せ
- 1- 5 インターンシップ事業実施要項
- 1- 6 インターンシップ Policy
- 1- 7 インターンシップ派遣に係る手続き等の取扱い
- 1- 8 インターンシップ派遣滞在費一部支援の取扱い
- 1- 9 インターンシップ複数回参加の取扱い
- 1-10 インターンシップ研修生引受けの趣旨
- 1-11 インターンシップ研修生受入優先支援に関する申合せ
- 1-12 インターンシップ研修生受入れに係る手続き等の取扱い
- 1-13 COVENANT（大学院）
- 1-14 COVENANT（学部）

- 1-15 著作権等の取扱い内規
- 1-16 eL 単位認定に関する要項（大学院）
- 1-17 eL 単位認定に関する要項（学部）
- 1-18 eL 開発部における職務に関して
- 1-19 OE センターと CEED の連携に関する覚書

《国際性啓発教育プログラム開発部》

- 2-1 第 1 学期実践科学義実英語・Brush-Up 英語講座受講案内
- 2-2 夏休み Brush-Up 英語講座受講案内
- 2-3 第 2 学期 Brush-Up 英語講座開講案内
- 2-4 第 2 学期 Brush-Up 英語講座受講案内
- 2-5 春休み Brush-Up 英語講座受講案内

《産学連携教育プログラム開発部》

- 3-1 インターンシップガイダンス
- 3-2 インターンシップ説明会
- 3-3 海外インターンシップ報告会
- 3-4 インターンシップ交流協定・覚書

《e ラーニングシステム開発部》

- 4-1 平成 27 年度 F D プログラム e ラーニング活用環境の現状把握セミナー資料

《工学系教育研究センター関係 内規・要項・取扱い・申合せ等》

- 1・1 北海道大学大学院工学研究院組織運営内規
- 1・2 北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター内規
- 1・3 工学系教育研究センター外部評価委員会内規

- 1・4 インターンシップ研修生受入れに関する申合せ
- 1・5 インターンシップ事業実施要項
- 1・6 インターンシップ Policy
- 1・7 インターンシップ派遣に係る手続き等の取扱い
- 1・8 インターンシップ派遣滞在費一部支援の取扱い
- 1・9 インターンシップ複数回参加の取扱い
- 1・10 インターンシップ研修生引受けの趣旨
- 1・11 インターンシップ研修生受入優先支援に関する申合せ
- 1・12 インターンシップ研修生受入れに係る手続き等の取扱い
- 1・13 COVENANT (大学院)
- 1・14 COVENANT (学部)

- 1・15 著作権等の取扱い内規
- 1・16 eL 単位認定に関する要項 (大学院)
- 1・17 eL 単位認定に関する要項 (学部)
- 1・18 eL 開発部における職務に関して
- 1・19 OE センターと CEED の連携に関する覚書

北海道大学大学院工学研究院組織運営内規

(平成 22 年 3 月 5 日制定)

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 この内規は、北海道大学大学院工学研究院（以下「研究院」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

第 2 章 組織

(研究院の組織)

第 2 条 研究院に、次の 13 部門を置く。

応用物理学部門
応用化学部門
材料科学部門
機械宇宙工学部門
人間機械システムデザイン部門
エネルギー環境システム部門
量子理工学部門
環境フィールド工学部門
北方圏環境政策工学部門
建築都市空間デザイン部門
空間性能システム部門
環境創生工学部門
環境循環システム部門

- 2 部門に分野を置く。
- 3 部門に置く分野の名称は、別表のとおりとする。
- 4 分野に専門の研究を行う研究室を置く。

第 3 条 研究院に、エネルギー・マテリアル融合領域研究センターを置く。

- 2 エネルギー・マテリアル融合領域研究センターの組織及び運営については、北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター規程（平成 22 年海大達第 106 号）の定めるところによる。

(研究院長)

第 4 条 研究院に研究院長を置き、研究院の専任の教授をもって充てる。

- 2 研究院長は、研究院に関する校務をつかさどる。
- 3 研究院長候補者の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(副研究院長)

第 5 条 研究院に副研究院長 3 名を置き、研究院の専任の教授をもって充てる。

- 2 副研究院長は、研究院長の職務を助ける。

(副研究院長候補者の選考)

第 6 条 研究院長は、副研究院長候補者を選考のうえ、第 14 条に規定する教授会に報告するものとする。

(副研究院長の任期)

第7条 副研究院長の任期は、研究院長の任期の範囲内とする。

(代議員)

第8条 研究院に代議員を置き、次条に規定する部門長をもって充てる。ただし、応用物理学部門及び応用化学部門にあっては、次条に規定する副部門長を加えることができる。

2 代議員は、第19条に規定する代議員会に出席する。

(部門長及び副部門長)

第9条 研究院の部門に部門長及び副部門長を置き、当該部門に所属する専任の教授をもって充てる。ただし、当該部門の運営上特に必要があるときは、当該部門に所属する再雇用による特任教授をもって充てることができる。

2 部門長は、部門を代表して部門の業務を掌理・統括し、調整する。

3 部門長に事故がある場合は、副部門長が部門長の職務を代行する。

4 部門長及び副部門長の選考は、第23条に規定する部門会議において選出する。

5 部門長及び副部門長の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員になった場合の後任の部門長及び副部門長の任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 運営会議及び教授会等

(運営会議)

第10条 研究院に運営会議を置く。

2 研究院長は、管理運営の実施に際し、運営会議の議を経るものとする。

(構成員)

第11条 運営会議は、次に掲げる者をもって構成する。

(1) 研究院長

(2) 副研究院長

(3) 研究院長の指名する専任の教授 若干名

(4) 事務部長

(会議の開催及び主宰)

第12条 運営会議は、原則として週1回開催し、研究院長が主宰する。

2 研究院長に事故がある場合は、あらかじめ研究院長が指名した副研究院長が職務を代行する。

(拡大運営会議)

第13条 研究院に、拡大運営会議を置く。

2 拡大運営会議は、第11条に規定する運営会議の構成員及び第32条第2項に規定する室長をもって構成する。

3 拡大運営会議は、定期的に行われ、研究院長が主宰する。

(教授会)

第14条 研究院に、教授会を置く。

(審議事項)

第15条 教授会は、国立大学法人北海道大学における教授会への意見聴取事項等に係る規程（平成27年海大達第42号。以下「意見聴取規程」という。）第2条第1号及び第6号から第10号までに掲げる事項を審議し、総長に意見を述べるものと

する。

2 教授会は、前項に定める事項のほか、次の事項を審議し、議決する。

- (1) 研究組織の運営に関すること。
- (2) 組織改編に関すること。
- (3) 中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- (4) 評価に関すること。
- (5) 教員（相当者を含む。）の人事に関すること。（意見聴取規程第2条第6号から第10号までに掲げる事項及び招へい教員の選考に関するものを除く。）
- (6) 研究院長の解職請求に関すること。
- (7) 学術交流に関すること。
- (8) 予算及び決算に関すること。
- (9) その他研究院に関する重要事項

3 第1項に規定する審議事項のうち、意見聴取規程第2条第6号から第10号までに掲げる事項並びに前項に規定する審議事項のうち、第1号、第5号及び第7号から第9号までに掲げる事項については、第19条に規定する代議員会に審議を付託し、議決させることができる。

（構成員）

第16条 教授会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 研究院の専任の教授、准教授及び講師並びに再雇用による特任教授、特任准教授及び特任講師
 - (2) 公共政策学連携研究部の専任の教授及び准教授のうちから、研究院教授会で指名する者
- （会議の開催及び主宰）

第17条 教授会は、研究院長が主宰する。ただし、専任の教授及び再雇用による特任教授のうち、5名以上から開催の要求があったときは、臨時にこれを開催する。

2 研究院長に事故がある場合は、あらかじめ研究院長が指名した副研究院長が職務を代行する。

3 第15条第2項第6号に規定する事項を審議する場合は、第1項本文の規定にかかわらず、研究院の専任の教授のうち、年長者（研究院長及び副研究院長を除く。）が議長となる。

（定足数及び議決）

第18条 教授会は、構成員の過半数が出席しなければ議事を開くことができない。

2 教授会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

3 前2項の規定にかかわらず、定足数及び議決について別に定めている場合は、その定めるところによる。

4 第15条第2項第6号の解職請求に関し、必要な事項は、別に定める。

（代議員会）

第19条 研究院に代議員会を置く。

2 代議員会は、第15条第3項の規定に基づき、次の事項を審議し、議決する。

- (1) 意見聴取規程第2条第6号から第10号までの事項

- (2) 研究組織の運営に関すること。
- (3) 教員（相当者を含む。）の人事に関すること。（意見聴取規程第2条第6号から第10号までに掲げる事項及び招へい教員の選考に関するものを除く。）
- (4) 学術交流に関すること。
- (5) 予算及び決算に関すること。
- (6) その他研究院に関する重要事項

3 代議員会は、審議結果等の活動状況について、適宜、教授会に報告するものとする。

（構成員）

第20条 代議員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 研究院長
- (2) 副研究院長
- (3) 工学系教育研究センター長
- (4) 第32条第2項に規定する室長
- (5) 代議員
- (6) エネルギー・マテリアル融合領域研究センター長

（会議の開催及び主宰）

第21条 代議員会は、原則として月1回開催し、研究院長が主宰する。

2 研究院長に事故がある場合は、あらかじめ研究院長が指名した副研究院長が職務を代行する。

（定足数及び議決）

第22条 代議員会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ開催することができない。ただし、第20条第5号又は第6号の構成員に事故がある場合は、同条第5号の構成員にあっては当該部門に所属する専任の教授（部門の運営上特に必要があるときは、部門に所属する再雇用による特任教授）、同条第6号の構成員にあってはエネルギー・マテリアル融合領域研究センターに所属する専任の教授（エネルギー・マテリアル融合領域研究センターの運営上特に必要があるときは、エネルギー・マテリアル融合領域研究センターに所属する再雇用による特任教授）の代理出席を認めるものとする。

2 代議員会の議事は、出席した構成員（代理者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数の場合は、研究院長の決するところによる。

3 前2項の規定にかかわらず、定足数及び議決について別に定めている場合は、その定めるところによる。

（構成員以外の者の出席）

第22条の2 代議員会が必要と認めたときは、代議員会に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（部門会議）

第23条 研究院の部門に、部門会議を置く。

2 部門会議は、部門長が議長となり、これを招集する。

3 部門会議に関し必要な事項は、部門が別に定める。

第4章 委員会及び運営協議会

(常置委員会)

第 24 条 研究院に、教授会、代議員会又は研究院長が諮問若しくは付託する事項について審議等を行うため、常置委員会を置く。

2 前項に定める常置委員会として、次の委員会を置く。

- (1) 将来構想委員会
- (2) 評価委員会
- (3) 人事運用審査委員会

3 前項各号に定める委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(特別委員会)

第 25 条 研究院長は、特定の事項を審議するため、運営会議の議を経て、特別委員会を置くことができる。

(運営協議会)

第 26 条 研究院に、研究院の運営についての諮問及び意見を聴くため、運営協議会を置く。

2 運営協議会に関し必要な事項は、別に定める。

第 5 章 センター等

(工学系技術センター)

第 27 条 研究院に、工学系技術センターを置く。

2 工学系技術センターに関し必要な事項は、別に定める。

(工学系教育研究センター)

第 28 条 研究院に、工学系教育研究センターを置く。

2 工学系教育研究センターに関し必要な事項は、別に定める。

(フロンティア化学教育研究センター)

第 28 条の 2 研究院に、フロンティア化学教育研究センターを置く。

2 フロンティア化学教育研究センターに関し必要な事項は、別に定める。

第 6 章 工学系連携推進部

(工学系連携推進部)

第 29 条 研究院に、工学系連携推進部を置く。

2 工学系連携推進部は、研究院及び情報科学研究科と合同で設置する。

3 工学系連携推進部に関し必要な事項は、別に定める。

第 7 章 共同利用施設等

(学内共同利用施設等)

第 30 条 研究院に、北海道大学共同利用施設等管理規程（昭和 38 年海大達第 3 号）に基づき、次の共同利用施設等を置く。

- (1) 核磁気共鳴装置研究室
- (2) ナノ・マイクロマテリアル分析研究室
- (3) 光電子分光分析研究室
- (4) 高エネルギー超強力 X 線回析室
- (5) 核燃料物質貯蔵施設
- (6) 超高压電子顕微鏡研究室

2 前項の学内共同利用施設等に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の共同利用施設)

第31条 研究院に、前条に定める学内共同利用施設等のほか、研究院内での共同利用に供するため、次の施設を置く。

- (1) 瞬間強力パルス状放射線発生装置研究室
- (2) 液体窒素貯蔵設備
- (3) 自然災害資料室

2 前項の施設に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 管理・企画室等

(管理・企画室等の設置)

第32条 研究院に、管理運営業務の企画、立案、実施及び調整するため、次の室を置く。

- (1) 広報・情報管理室
- (2) 安全衛生管理室
- (3) 研究企画室
- (4) 国際交流室

2 前項に規定する室に、それぞれ室長を置く。

3 第1項に規定する室の室長、所掌事項及び構成員については、別に定める。

4 第1項第1号の室は、研究院、工学院及び工学部合同で設置する。

5 第1項第2号の室は研究院、工学院、工学部、情報科学研究科及び量子集積エレクトロニクス研究センターと合同で設置する。

6 第1項第4号の室は研究院及び工学院と合同で設置する。

7 研究院長が必要と認めた場合は、第1項に定めるもののほか、運営会議の議を経て、室を設置することができる。

附 則

1 この内規は、平成22年4月1日から施行する。

2 北海道大学大学院工学研究科組織運営内規（平成17年2月10日専攻長会議決定）は、廃止する。

附 則

この内規は、平成22年5月14日から施行し、平成22年4月20日から適用する。

附 則

この内規は、平成22年11月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成 24 年 11 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 27 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この内規は、平成 27 年 11 月 7 日から施行する。

別表（第2条第3項関係）

部 門 の 名 称	分 野 の 名 称
応用物理学部門	量 子 物 性 工 学 分野 凝 縮 系 物 理 工 学 分野 光 波 動 量 子 物 理 工 学 分野 固 体 量 子 物 理 工 学 分野
応用化学部門	有 機 工 業 化 学 分野 化 学 工 学 分野 生 物 工 学 分野 分 子 機 能 化 学 分野 機 能 材 料 化 学 分野 無 機 材 料 化 学 分野
材料科学部門	エ コ マ テ リ ア ル 分野 マ テ リ ア ル 設 計 分野 エ ネ ル ギ ー 材 料 分野
機械宇宙工学部門	宇 宙 シ ス テ ム 工 学 分野 機 械 フ ロ ン テ ィ ア 工 学 分野
人間機械システムデザイン部門	バ イ オ ・ ロ ボ テ ィ ク ス 分野 マ イ ク ロ シ ス テ ム 分野
エネルギー環境システム部門	エ ネ ル ギ ー 生 産 ・ 環 境 シ ス テ ム 分野 応 用 エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 分野
量子理工学部門	応 用 量 子 ビ ー ム 工 学 分野 プ ラ ズ マ 理 工 学 分野
環境フィールド工学部門	水 圏 環 境 工 学 分野 防 災 地 盤 工 学 分野
北方圏環境政策工学部門	寒 冷 地 建 設 工 学 分野 技 術 環 境 政 策 学 分野
建築都市空間デザイン部門	空 間 防 災 分野 空 間 計 画 分野
空間性能システム部門	空 間 性 能 分野 建 築 シ ス テ ム 分野
環境創生工学部門	水 代 謝 シ ス テ ム 分野 環 境 管 理 工 学 分野 循 環 ・ エ ネ ル ギ ー 技 術 シ ス テ ム 分野(寄附分野)
環境循環システム部門	資 源 循 環 工 学 分野 地 圏 循 環 工 学 分野

北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター内規

(平成22年4月9日制定)

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学大学院工学研究院組織運営内規第28条第2項の規定に基づき、北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター(以下「センター」という。)の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、工学教育プログラムの調査、研究及び開発等を行うことによって、工学研究院、工学院、総合化学院、情報科学研究科及び工学部の教育研究の発展に資することを目的とする。

(センター長)

第3条 センターにセンター長を置き、工学研究院の専任の教授又は特任教授(再雇用による特任教授を除く。)をもって充てる。

2 センター長は、センターの業務を統括する。

3 センター長に事故がある場合は、あらかじめセンター長が指名した者が職務を代行する。

4 センター長の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任のセンター長の任期は、前任者の残任期間とする。

(開発部)

第4条 センターの業務を実施するため、次の開発部を置く。

(1) 産学連携教育プログラム開発部

(2) 国際性啓発教育プログラム開発部

(3) eラーニングシステム開発部

2 前項に規定する各開発部に運営責任者1名及び必要に応じて部員若干名を置き、センター長が命ずる。

3 前項の運営責任者の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任の運営責任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(開発部の職務)

第5条 産学連携教育プログラム開発部は、社会の要請に適切に対応する革新的、先駆的、実践的な工学教育を実施するため、次に掲げる事項の調査、研究及び開発を担当する。

(1) 新産業創出教育プログラムのプロジェクトマネージャー教育プログラムに関する事項

(2) 国内及び海外インターンシッププログラムに関する事項

(3) 安全技術・倫理教育プログラムの技術者倫理及び安全教育に関する事項

(4) その他産学連携教育に関する事項

第6条 国際性啓発教育プログラム開発部は、国際性涵養のために必要な外国語による意思疎通及びプレゼンテーション能力を向上させるため、次に掲げる事項の調査、研究及び開発を担当する。

(1) 新産業創出教育プログラムの科学技術英語教育及び留学生工学教育に関する

事項

- (2) 創成型教育プログラムの海外派遣教育及び英語特別コースに関する事項
- (3) その他国際性啓発教育に関する事項

第7条 eラーニングシステム開発部は、社会の要請に合致した教育システム・環境を構築し、ブラッシュアップさせるため、次に掲げる事項の調査、研究及び開発を担当する。

- (1) 企業連携教育及び国際連携教育等へのeラーニングシステムを用いた支援に関する事項
- (2) 遠隔教育・自習等の学習支援環境整備に関する事項
- (3) その他eラーニングシステムに関する事項
(管理運営委員会)

第8条 センターに、センターの管理運営を行うため、管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) センター長候補者の推薦に関する事
- (2) 予算及び決算に関する事
- (3) センターの事業に関する事
- (4) センターの行事に関する事
- (5) その他センターに関する重要事項

3 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 工学院の教育担当副学院長及び情報科学研究科の教育担当副研究科長
- (3) 工学院及び情報科学研究科の全学教務委員会委員（北海道大学教務委員会規程（平成11年海大達第9号）第3条第1項第12号及び第13号に規定する委員をいう。）
- (4) 工学院の教育・キャリア企画室長
- (5) 情報科学研究科の教育企画室長
- (6) 第4条第2項に規定する各開発部の運営責任者
- (7) 工学研究院の専任の教授又は准教授のうちから 3名（総合化学院担当の専任の教授又は准教授1名を含む。）
- (8) 情報科学研究科の専任の教授又は准教授のうちから 1名
- (9) センターの専任の教授及び特任教授
- (10) 事務部長

4 前項第7号及び第8号の規定にかかわらず、委員会の運営上特に必要と認めるときは、再雇用による特任教授又は特任准教授を委員とすることができるものとする。

5 第3項第7号及び第8号の委員の任期は、1年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

7 委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ開催することができない。ただし、第3項第7号及び第8号の委員については、代理出席を認めるものとする。

8 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

9 第3項第10号の委員は、第2項第1号の審議には加わることができない。
(外部評価委員会)

第9条 センターの活動状況等について外部の評価を受けるため、外部評価委員会を置く。

2 外部評価委員会に関し必要な事項は、別に定める。
(庶務)

第10条 センターの庶務は、総務課、経理課、情報科学研究科事務課及び国際企画事務室の協力を得て、教務課工学系教育研究センター事務室において処理する。
(雑則)

第11条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

- 1 この内規は、平成22年4月9日から施行し、平成22年4月1日から適用する。
- 2 北海道大学大学院工学研究科工学系教育研究センター内規(平成17年2月10日工学系教育研究センター設置準備委員会決定)は、廃止する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月8日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成26年10月1日から施行する。

北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター外部評価委員会内規

(平成22年4月9日制定)

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター（以下「センター」という。）内規第9条の規定に基づき、センターの外部評価委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものである。

(任務)

第2条 委員会は、センターの活動状況等について外部評価を行うことを任務とする。

(組織)

第3条 委員会は、大学及び企業等の有識者6名以内をもって組織する。

2 前項の委員は、センター長の推薦に基づき工学研究院長が委嘱する。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選とする。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、原則として隔年開催とする。

(実施方法)

第6条 外部評価は、センターの年度報告書及び資料による調査のほか、センターで実施する報告会及び実地調査等により行う。

(外部評価結果の尊重)

第7条 センター長は、前条の外部評価の結果について尊重し、その活動に反映させるよう努めなければならない。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、工学系事務部の協力を得て、センター事務室において処理する。

(その他)

第9条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この内規は、平成22年4月9日から施行し、平成22年4月1日から適用する。
- 2 北海道大学大学院工学研究科工学系教育研究センター外部評価委員会内規（平成18年1月13日工学系教育研究センター管理運営委員会決定）は、廃止する。

北海道大学大学院工学研究院インターンシップ研修生受入に関する申合せ

(平成 22 年 4 月 9 日代議員会決定)

(趣旨)

第 1 条 この申合せは**工学研究院**における海外インターンシップ研修生受入制度に伴う、研修生の受入手続等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(受入手続)

第 2 条 受入教員は、受入予定の研修生と受入における覚書を取り交わし、次の各号に掲げる書類を添えて**研究院長**に願い出なければならない。

- (1) インターンシップ研修生受入願 (所定様式)
- (2) 履歴書 (所定様式)
- (3) 覚書の写し
- (4) 写真 2 枚
- (5) 在学証明書
- (6) 旅券の写し
- (7) インターンシップ研修生受入計画書

2 研究院長は、研究院代議員会の議を経て受入 (期間の延長を含む) を許可するものとする。

(身分)

第 3 条 受入れを許可される者は、外国の大学に所属している正規学生でなければならない。また、工学研究院における身分は、「工学研究院インターンシップ研修生」とする。

(受入期間)

第 4 条 受入期間は、6 ヶ月を越えないものとする。

2 工学研究院インターンシップ研修生が、その研修を継続しようとするときは、事由を付して 6 ヶ月に限り研究院長に延長を願い出ることができる。

(図書室利用等)

第 5 条 工学研究院インターンシップ研修生に対しては工学研究院中央図書室の利用の便宜を図るものとする。

(非違行為に対する措置)

第 6 条 研究院長は、工学研究院インターンシップ研修生が次の各号に該当する場合は、必要な措置を講ずることができる。

- (1) 法令に違反した場合
- (2) 研修生の義務に違反し、又は必要な活動を怠った場合
- (3) 研修生としてふさわしくない非行があった場合

(措置の内容)

第 7 条 研究院長は、前条各号に定める事項に該当し、特に必要があると認めたときは、速やかに当該インターンシップ研修を取り消すとともに、既に支給した経費については一部又は全額を返納させるものとする。

附 記

- 1 この申合せは、平成 22 年 4 月 9 日から実施し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 北海道大学大学院工学研究科インターンシップ研修生受入に関する申合せ（平成 21 年 11 月 6 日開催代議員会決定）は、廃止する。

附 記

この申合せは、平成 27 年 12 月 4 日から実施する。

工学系教育研究センターインターンシップ事業実施要項

(平成21年12月14日工学系教育研究センター管理運営委員会決定)

(趣旨)

第1条 この要項は、北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター（以下「センター」という。）における、工学院、情報科学研究科及び総合化学院（該当する研究室は別表に記載）の学生に係るインターンシップ事業の実施に関し、必要な事項を定めるものである。

(目的)

第2条 インターンシップ事業は、学生に在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行わせ、高い職業意識の育成及び修学意欲の向上を図ることを目的とする。

(対象事業)

第3条 センターは、次のインターンシップ事業を行う。

- (1) インターンシップ（長期）派遣
- (2) インターンシップ（短期）派遣
- (3) 海外インターンシップ研修生受入れ

2 前項第3号の受入れは、受入担当教員及び当該部門長が受入れを適当と認め、当該教員の所属する研究院及び研究科等の代議員会又は専攻長会議で受入承認されたものを対象とする。

(派遣、受入れの手順)

第4条 インターンシップ派遣の手順は次のとおりとする。派遣に係る手続き及び所定の様式は、センター長が別に定める。

- (1) 募集
- (2) 申込み
- (3) マッチング
- (4) 決定通知等
- (5) 研修先への派遣依頼、契約
- (6) 派遣事前教育、研修
- (7) 研修終了報告及び体験報告
- (8) 単位認定

2 海外インターンシップ研修生受入れの手順は次のとおりとする。受入れに係る手続き及び所定の様式は、センター長が別に定める。

- (1) 募集通知
- (2) 代議員会等の受入承認
- (3) 決定通知等
- (4) 在留資格認定証明書交付申請
- (5) 研修終了報告及び体験報告

3 学生が、第1項の手順にかかわらず研修先と直接交渉してインターンシップを決める

場合についても、センター長に申込みし、承認を得るものとする。

(単位認定)

第5条 インターンシップ科目の単位認定をする場合は、次に掲げる書類を提出させる。

この場合、事前に「履修届」を提出するものとする。

(1) インターンシップ計画書

(2) 研修終了報告

(3) 研修機関からの研修終了の証明

2 単位の認定は、前項に掲げる書類により指導教員の承認を得て、センター産学連携教育プログラム開発部担当教員が認定する。

(経費支援)

第6条 センターは、インターンシップの派遣又は海外インターンシップ受入れが承認された場合、かかる経費の一部を支援することができる。

2 前項の経費支援の取扱いは、センター長が別に定める。

3 経費支援額は、センター長が予算額を勘案して別に定める。

(実施報告)

第7条 センター長は、インターンシップの派遣及び海外インターンシップ受入れの状況について評価し、センター管理運営委員会に報告するものとする。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、インターンシップの派遣及び受入れに関し必要な事項は、センター管理運営委員会の議を経て、センター長が別に定める。

附 記

この要項は、平成22年4月1日から実施する。

附 記

この要項は、平成24年7月26日から実施し、平成24年4月1日から適用する。

別表（第1 関係）

コース名	講座名	分野名
分子化学	反応制御学	反応有機化学
		有機元素化学
		有機合成化学
	触媒反応学	触媒物質化学
	プロセス工学	化学システム工学
		材料化学工学
		化学反応工学
		エネルギー変換システム設計
物質化学	無機物質化学	構造無機化学
		無機合成化学
		固体反応化学
		ナノセラミックス
		応用材料化学
	先端物質化学	電子材料化学
		界面電子化学
		先端材料化学
生物化学	生命分子化学	生物計測化学
	生物機能化学	高分子機能化学
		分子材料化学
		バイオ分子工学
		ケミカルバイオテクノロジー
	細胞生物学	応用生物化学
		細胞培養工学
		動物細胞工学

CEED インターンシップ POLICY の申合わせ

(2008 年 11 月 26 日 産学連携教育プログラム開発部会 承認)

(2014 年 11 月 19 日 産学連携教育プログラム開発部会 承認)

1. CEED インターンシップは、基本的に「実践的リーダーとなるための就業体験」である。
2. CEED インターンシップの基本理念は「自分の研究テーマ以外の project への対応能力の涵養、視野と体験の拡大」である。
3. 国内、国外、企業、研究機関を問わず、「北大での研究テーマの一部を、外部の機関で実施するもの」は、CEED のインターンシップ支援の対象にはしない。それは、理念 2 に反するからである。
4. 国内、海外を問わず、CEED インターンシップの研修先は、大学ではなく企業あるいは公的機関等であることが望ましい。
5. 国内インターンシップの場合、大学でのインターンシップは原則として CEED 支援の対象としない。
6. 海外インターンシップの派遣先が大学の Project の場合、北大での研究の一部でなければ CEED インターンシップと認める。
ただし、Project での実働が主体であることを前提としたうえで、能力向上を目的とした講習や講義を受けることを認める。
7. 自身の研究テーマの遂行に必要な技量を外部機関や全国共同利用施設等で習得するような場合は、CEED インターンシップとは認めない。
8. 外国人留学生の CEED インターンシップにも上述 5～7 を適用する。
9. 外国人留学生が、母校である大学でインターンシップを行う場合は、CEED の支援の対象とはしない。

ただし、外国人留学生が、自国の企業でインターンシップを行う場合はこれを CEED インターンシップと認める。自国の他大学の場合は、CEED インターンシップと認める場合がある。

以上

工学系教育研究センター インターンシップ派遣に係る手続き等の取扱い

(平成 17 年 5 月 26 日工学系教育研究センター長裁定)

(平成 24 年 7 月 26 日工学系教育研究センター管理運営委員会一部改正)

(趣旨)

第 1 この取扱いは、工学系教育研究センター（以下「センター」という。）インターンシップ事業実施要項」第 4 条第 1 項の規定に基づき、インターンシップの派遣に係る手続き及び所定の様式の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

(期間)

第 2 インターンシップ派遣の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) インターンシップ（長期）派遣 研修期間が実働 15 日以上（通算 3 週間以上）
- (2) インターンシップ（短期）派遣 研修期間が実働 5 日以上（通算 1 週間以上）

(参加の心構え及び遵守事項、準備事項)

第 3 インターンシップに参加する者は、次に掲げる要件を満たしていること。

- (1) インターンシップの目的・意義を理解し、大学院学生として責任をもって参加できる。
- (2) インターンシップ参加に際しては、契約期間の遂行、守秘義務等の遵守など、事前に締結されている契約書等条項を十分理解している。
- (3) 学生教育研究災害傷害保険付帯の学生教育研究賠償責任保険等に加入している。

(募集)

第 4 インターンシップ参加学生の募集は、掲示、通知又は H P による。

(申込み)

第 5 インターンシップに参加を希望する学生は、「参加申込書」（別紙様式 1）に「参加目的レポート」（別紙様式 2）を添付して、センター長に提出する。

2 前項の提出にあたっては、あらかじめ指導教員の下承を得る。

(マッチング)

第 6 センターは、第 5 の申込学生とあらかじめ登録している受入可能企業等とマッチングを行う。

(決定通知等)

第 7 センター長は、第 6 のマッチングの結果、インターンシップの派遣が成立した場合は、当該学生（別紙様式 3）及び指導教員に決定の通知（別紙様式 4）をするとともに、派遣先企業に派遣依頼（別紙様式 5）及び派遣契約（様式適宜）を行う。

(経費支援)

第 8 センターは、第 7 のインターンシップの派遣が決定した当該学生に、かかる経費の一部を支援することができる。

2 前項の経費支援は、実働 20 日以上 of インターンシップに対して行うことを原則とする。

(経費支援の額)

第9 経費支援は、研修先への往復交通費分以内を原則とする。

(経費支援申請)

第10 インターンシップに派遣決定された者は、経費支援に係る申請書(別紙様式6)に必要書類を添付し、指導教員の承認を経て、センター長に提出する。ただし、航空機を利用する場合は、その見積書又は領収書(日付・便名・氏名・金額のわかるもの)を添付する。

(決定及び通知)

第11 センター長は、第10の申請があった場合、センター産学連携教育プログラム開発部と協議のうえ支援額を決定し、別紙様式7により申請者に及び別紙様式8(必要書類を添付)により経理課にこの旨通知する。

(支給)

第12 経理課は、前項の通知に基づき、所要の手続きを経て、当該学生から提出のある振込先に当該決定支援額を振り込むものとする。

(事前研修)

第13 センターは、インターンシップの効果をより高めるため、当該学生に事前研修を行う。

(終了及び体験報告)

第14 インターンシップを終了した学生は、終了後10日以内に終了報告(別紙様式9)及び体験報告(別紙様式10)をセンター長に提出する。

2 前項の提出にあたっては、あらかじめ指導教員の下承を得る。

(その他)

第15 この取扱いによりがたい事項が生じた場合は、その都度、センター長と産学連携教育プログラム開発部で協議のうえ取扱うものとする。この場合、センター管理運営委員会に報告するものとする。

附 記

この取扱いは、平成17年5月26日から実施し、平成17年4月1日から適用する。

附 記

この取扱いは、平成24年7月26日から実施し、平成24年4月1日から適用する。

工学系教育研究センター インターンシップ派遣に係る滞在経費一部支援の取扱い

(平成22年7月20日工学系教育研究センター長裁定)

(趣旨)

第1 この取扱は、「工学系教育研究センター（以下「センター」という。）インターンシップ事業実施要項」に基づき定めている「センターインターンシップ派遣に係る手続き等の取扱い」第8条及び第9条に係る経費支援の上限及び決定の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

(往復交通費分以外の経費支援)

第2 インターンシップに参加を希望する学生において、官公庁などの受入機関から滞在に係る経費支援が無い場合には、予め、当該学生はセンターに滞在経費に係る公的契約資料を提出する。

2 センターは前項の公的契約資料内容の確認を行い、支援の可否の判断を行い当該学生に通知する。

(往復交通費分以外の経費支援の上限)

第3 センターの往復交通費分以外の経費支援の上限は、北海道大学旅費規則（海大達第122号）の日当に基づき、2,200円/日とし、これを超えない範囲で2ヶ月を限度とし一部経費支援をすることができる。

(往復交通費分以外の経費支援の決定等)

第4 当該学生は、かかる滞在経費について安全かつ安価な最低限の宿泊施設使用に関する見積書を取得し、センターに提出する。

2 センターは当該見積書の内容を確認し、支援額を決定する。

(その他)

第5 この取扱いによりがたい事項が生じた場合は、その都度、センター長と産学連携教育プログラム開発部で協議のうえ取扱うものとする。この場合、センター管理運営委員会に報告するものとする。

附 記

この取扱いは、平成22年7月20日から実施する。

工学系教育研究センター インターンシップの複数回参加の取扱い（一部改正案）

複数回のインターンシップ参加について、下記のとおり取り扱う。

履修については、インターンシップ第一、インターンシップ第二それぞれ1回しか履修できない。

旅費支援については、より多くの学生がCEED支援を利用できるようにする趣旨から、次のとおり取り扱う。

その他については、初回同様の取り扱いとする。

I. 国内インターンシップ長期に参加、再度海外インターンシップに参加する場合

①国内インターンシップ長期に参加の際に旅費支援を受けていない場合は、海外インターンシップ参加に対し旅費支援を受けることができる。

②国内インターンシップ長期参加の際に経済支援を受けている場合、海外インターンシップ参加に対する旅費支援は、原則不可。

ただし、予算の状況によっては、一部または全額の旅費支援を可とする。

※同一年度内でも複数年度でも、上記の取り扱いとする。

II. 海外インターンシップに参加、再度海外インターンシップに参加する場合

2度目の海外インターンシップ参加については、原則旅費支援を行わない。

ただし、予算の状況によっては、一部または全額の旅費支援を可とする。

III. 国内インターンシップ長期参加、再度国内インターンシップ長期に参加する場合

2度目の国内インターンシップ長期参加については、原則旅費支援を行わない。

ただし、予算の状況によっては、一部または全額の旅費支援を可とする。

IV. 国内インターンシップ長期参加後、国内インターンシップ短期に参加する場合

両方とも旅費支援は可（長期と短期の順が逆の場合も同じ）。

※科目が別のため（インターンシップ第一・第二）。

V. 国内インターンシップ短期参加、再度国内インターンシップ短期に参加する場合

2度目の国内インターンシップ短期参加については、原則旅費支援を行わない。

附 記

この取扱いは、平成24年7月26日から実施し、平成24年4月1日から適用する。

以上

インターンシップ研修生引き受けの趣旨

(平成20年5月7日工学系教育研究センター長裁定)

工学系研究科及び情報科学研究科におけるインターンシップ研修生引き受け制度は、グローバルな観点で北大の教育機能を果たすためのものであると同時に、「本学学生の能力向上に資すること」を大きな目的としています。具体的には、次のような効果を期待しています。

1. 受け入れ研修生と研究室学生の交流による教育効果

受け入れ研究室の学生の国際コミュニケーション能力、外国人との協同による研究遂行能力の向上、積極性、異文化理解の促進、等が期待されます。

2. 外国人学生の我が国および北海道大学への理解促進

これは我が国および北大の教育戦略として重要です。また、将来の北海道大学大学院への進学の可能性を開くことができます。

3. 本学から海外諸機関へのインターンシップ生派遣のための相互義務

IAESTE（国際学生技術研修協会）では、日本から派遣すると同数の海外研修生の受け入れ（北大で確保した企業を含む）が原則です。また大学間では、相互にインターンシップ生の交換を定める場合があります。何れの場合も、北大での受け入れによって、北大から派遣するインターンシップ学生を増やすことができます。

4. 1 研究室における年間受入れ支援最大人数

CEED はインターンシップ研修生の滞在費の一部を支援するが予算に限りがあることと、受け入れ研修生と研究室学生の交流による教育効果をより多くの研究室に普及する主旨から、各研究室での受入れ支援人数は最大2名とする。

CEED は上の観点から経費の支援を行います。受け入れ研究室ではこの趣旨を理解頂き、研究室学生および外国人研修生の双方に有意義で教育効果のある研修期間として頂くようお願い致します。具体的には、担当の学生グループを作り、協同して **project** を遂行させる、ゼミ、コンパなどで英語によるコミュニケーション機会を多く作る、諸行事による相互理解の促進を図る、等をご留意頂ければ幸いです。

また、この趣旨から、研修内容が明確でない場合、および、研修生を単なる実験補助者として使用するような場合は、受け入れの経費支援を採択しない方針です。

なお、海外インターンシップを経験した学生を中心に、「北大国際インターンシップ学生委員会(SCII)」があり、学生サイドでのインターンシップ生、留学生との交流機会を作っています。これにつきましても、ご理解とご支援を戴きますよう、お願い致します。

CEED ではインターンシップ期間終了後に、受け入れ教員および研修生双方から報告書を提出頂いています。双方からの報告、意見を参照して、受け入れ支援制度の健全な発展を図って参ります。

附記

この取扱いは、平成20年5月7日から実施し、平成20年4月1日から適用する。

2015 年度以降における海外インターンシップ研修生受入に係る 優先支援条件について

CEED 産学連携部門 山下

1. CEED が支援する 1 研究室のインターンシップ研修生受入れ人数は、最大 2 名を原則とする（「受入れの趣旨」参照）。
2. IAESTE の国際インターンシッププログラムによるインターンシップ研修生の人数は、上記人数に含めない。
これは、当プログラムにより派遣した本学学生の数に見合った人数を受入れる義務が大学にはあるとの考えによる。
なお、この受入人数には、本学が紹介した研究機関・企業等による受入人数を含む。
3. 受入希望人数が多く、CEED の支援予算に支障を来す場合には、今年度（2015 年度）に本学学生を海外へ派遣する予定の研究室、または、前年度までに海外派遣実績のある研究室を優先する。
4. 受入支援申請（人数）が多く、CEED の支援予算に支障を来す場合には、インターンシップ交流協定（または覚書）を締結している大学からの受入れを優先する。

（参考）受入優先支援大学と内容

優先支援大学	受入人数	受入期間
①SNU	数名	通年
②ENSMA	数名	通年
③TAMK	数名	通年
④Rice Univ.	数名	通年
⑤Chulalongkorn Univ.	数名	通年
⑥QUT.	数名	通年
⑦IIUM	数名	通年
⑧Kasetsart Univ.	数名	通年
⑨Universiti Sains Malaysia	数名	通年

工学系教育研究センター 海外インターンシップ研修生受入に係る手続き等の取扱い

(平成17年5月26日工学系教育研究センター長裁定)

(趣旨)

第1 この取扱いは、工学系教育研究センター（以下「センター」という。）インターンシップ事業実施要項」第4条第2項の規定に基づき、海外インターンシップ研修生受入れ（以下「研修生受入」という。）に係る手続き及び所定の様式の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

(受入要件)

第2 研修生受入の交渉、申請は、受入担当の教員（以下「受入教員」という。）が行い、工学研究院にあっては代議員会、情報科学研究科にあっては専攻長会議の受入承認を得る。

(申込み)

第3 受入教員は、研修生受入の希望がある場合、「受入申込書」（別紙様式1）をセンター長に提出する。

2 前項の提出にあたっては、あらかじめ当該部門長又は専攻長の下承を得る。

(代議員会等の受入承認)

第4 受入教員は、第3の申込みと同時に、所属する研究院の代議員会又は研究科の専攻長会議の承認を得る

2 前項の承認を得るにあたっては、「インターンシップ研修生受入願」（別紙様式2）、「インターンシップ研修生受入計画書」（別紙様式3）及び必要書類を、当該研究院長又は研究科長に提出する。

(決定通知等)

第5 センター長は、第4の代議員会等の承認があった場合、受入教員に決定の通知（別紙様式4）を行う。

(経費支援)

第6 センターは、受入決定された海外インターンシップ研修生（以下「研修生」という。）に対し、かかる滞在費等の一部を支援することができる。

2 支援は原則として、2ヶ月以内の滞在費等分とする。

(経費支援申請)

第7 受入教員は、経費支援に係る申請書（別紙様式5）に必要書類を添付し、センター長に提出する。

(決定及び通知)

第8 センター長は、第7の申請があった場合、センター産学連携教育プログラム開発部と協議のうえ支援額を決定し、受入教員（別紙様式6）及び経理課（別紙様式7）にこの旨通知する。

(経費支給手続き)

第9 受入教員は、第8の通知に基づき、当該研修生に係る経費支援額の支給について、所定の手続きを経る。

(終了及び体験報告)

第 10 受入教員は、研修生受入が終了した場合は、当該研修生の体験報告（様式適宜）を添付して終了後 10 日以内に終了報告（別紙様式 8）をセンター長に提出する。

(その他)

第 11 この取扱いによりがたい事項が生じた場合は、その都度、センター長と産学連携教育プログラム開発部で協議のうえ取扱うものとする。この場合、センター管理運営委員会に報告するものとする。

附 記

この取扱いは、平成 17 年 5 月 26 日から実施し、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。

Trainee COVENANT for Graduate School of Engineering, HOKKAIDO UNIVERSITY Internship Program

I _____ agree to enter into an internship agreement with host supervisor _____ for the purpose of participating in the internship program in the Graduate School of Engineering at Hokkaido University in accordance with the terms and conditions as provided below.

*After carefully reading the following statements, please **initial each box below, and sign your name and date** on the second page.*

To the Supervisor, _____ . (Put the name of the supervisor here)

- ☐ My entry to Japan is only for the participation in the Graduate School of Engineering, Hokkaido University Internship Program. I understand the aim of the program and will do my best to promote mutual international understanding and to stimulate my technical knowledge.
- ☐ I will be a special auditor at Hokkaido University and undertake an 'Internship' and obtain a credit/credits from Hokkaido University.
- ☐ During my stay in Japan as a trainee in the Graduate School of Engineering, Hokkaido University, I will not be involved in any other training or labour apart from the program. I will leave Japan before the expiry of my visa.
- ☐ I am obliged to submit my training report to the Supervisor before leaving Japan.
- ☐ I will observe Japanese laws and regulations and will not engage in any criminal or immoral activities. I acknowledge that I shall be responsible for any incident that is a result of illegal or careless behaviour. In the unfortunate event that I am involved in an unavoidable incident, I also acknowledge that the Supervisor will provide necessary humanitarian aid, but the Supervisor will not pay for incurred expenses.
- ☐ In my training program I will fully observe the regulations of the Supervisor. If particular care is required so as not to damage the properties, facilities and equipment, I will follow all requirements and directions to be given by the Supervisor.
- ☐ During and after internship program, I will not leak host supervisor's confidential information concerning his/ her research to third parties. Any Intellectual property rights relating to invention during internship shall belong to host supervisor.
- ☐ I will respect Japanese customs and manners during my stay in Japan and will promote international friendship.
- ☐ Intentional damage to the Supervisor's properties may result in my being requested to cease or halt my training. In such case, I understand the disciplinary action and will obey the order from the Supervisor.
- ☐ I will not ask for any form of financial aid from Supervisor.

☐ I agree to obtain my own insurance and to submit a copy of the Certificate of Insurance Policy (health insurance and liability for damages) to the Supervisor, prior to coming to Japan. I will be responsible for any expenses which will not be covered by this insurance.

☐ I confirm that Supervisor is not responsible for or liable for any accidents and/or incidents related to my personal matter.

☐ I'm supposed to leave Japan right after the training period is over. However, if I want to stay in Japan a little longer, Supervisor cannot be held responsible for what happens to me.

☐ If I obtain financial assistance, I will seek permission from the funding body when I leave Hokkaido University before completion of the internship. If it is necessary, I will return the fund to the funding body.

☐ I hereby certify that I have read and fully agree to be bound by the terms and condition of this Covenant. I agree to leave Hokkaido University as soon as possible in the event that I break any of the above-mentioned terms and conditions. If I need to leave Japan, I am responsible for the cost of my return to my home country. I agree that the Dean of Graduate School of Engineering will notify my home university about the cause of my return.

Trainee's First Name and Surname in block letters

Trainee's Signature

Date (date/month/year)

Supervisor's Name in block letters

Supervisor's Signature

Date (date/month/year)

Trainee COVENANT for School of Engineering, HOKKAIDO UNIVERSITY Internship Program

I _____ agree to enter into an internship agreement with host supervisor _____ for the purpose of participating in the internship program in the School of Engineering at Hokkaido University in accordance with the terms and conditions as provided below.

*After carefully reading the following statements, please **initial each box below, and sign your name and date** on the second page.*

To the Supervisor, _____ . (Put the name of the supervisor here)

- ☐ My entry to Japan is only for the participation in the School of Engineering, Hokkaido University Internship Program. I understand the aim of the program and will do my best to promote mutual international understanding and to stimulate my technical knowledge.
- ☐ I will be a special auditor at Hokkaido University and undertake an 'Internship' and obtain a credit/credits from Hokkaido University.
- ☐ During my stay in Japan as a trainee in the School of Engineering, Hokkaido University, I will not be involved in any other training or labour apart from the program. I will leave Japan before the expiry of my visa.
- ☐ I am obliged to submit my training report to the Supervisor before leaving Japan.
- ☐ I will observe Japanese laws and regulations and will not engage in any criminal or immoral activities. I acknowledge that I shall be responsible for any incident that is a result of illegal or careless behaviour. In the unfortunate event that I am involved in an unavoidable incident, I also acknowledge that the Supervisor will provide necessary humanitarian aid, but the Supervisor will not pay for incurred expenses.
- ☐ In my training program I will fully observe the regulations of the Supervisor. If particular care is required so as not to damage the properties, facilities and equipment, I will follow all requirements and directions to be given by the Supervisor.
- ☐ During and after internship program, I will not leak host supervisor's confidential information concerning his/ her research to third parties. Any Intellectual property rights relating to invention during internship shall belong to host supervisor.
- ☐ I will respect Japanese customs and manners during my stay in Japan and will promote international friendship.
- ☐ Intentional damage to the Supervisor's properties may result in my being requested to cease or halt my training. In such case, I understand the disciplinary action and will obey the order from the Supervisor.
- ☐ I will not ask for any form of financial aid from Supervisor.

☐ I agree to obtain my own insurance and to submit a copy of the Certificate of Insurance Policy (health insurance and liability for damages) to the Supervisor, prior to coming to Japan. I will be responsible for any expenses which will not be covered by this insurance.

☐ I confirm that Supervisor is not responsible for or liable for any accidents and/or incidents related to my personal matter.

☐ I'm supposed to leave Japan right after the training period is over. However, if I want to stay in Japan a little longer, Supervisor cannot be held responsible for what happens to me.

☐ If I obtain financial assistance, I will seek permission from the funding body when I leave Hokkaido University before completion of the internship. If it is necessary, I will return the fund to the funding body.

☐ I hereby certify that I have read and fully agree to be bound by the terms and condition of this Covenant. I agree to leave Hokkaido University as soon as possible in the event that I break any of the above-mentioned terms and conditions. If I need to leave Japan, I am responsible for the cost of my return to my home country. I agree that the Dean of School of Engineering will notify my home university about the cause of my return.

Trainee's First Name and Surname in block letters

Trainee's Signature

Date (date/month/year)

Supervisor's Name in block letters

Supervisor's Signature

Date (date/month/year)

北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センターにおける e ラーニングコンテンツに関する著作権等の取扱い内規

(平成 24 年 3 月 5 日制定)

(趣旨)

第 1 条 北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター（以下「センター」という。）において作成する e ラーニングコンテンツの著作権等の取扱いについては、著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(定義)

第 2 条 この内規において「e ラーニングコンテンツ」とは、北海道大学（以下「本学」という。）の教員が行う講義を、第 4 条第 1 項の規定によりセンターが著作者（e ラーニングコンテンツ作成の対象となる講義を担当する本学の教員をいう。以下同じ。）の許諾を得て撮影し、当該撮影した内容を編集した動画、写真、音声、テキスト形式等のデータを含む教材をいう。

(管理者)

第 3 条 センターに、e ラーニングコンテンツを一元的に管理する者（以下「管理者」という。）を置き、センターの e ラーニングシステム開発部運営責任者をもって充てる。

(許諾)

第 4 条 センターは、著作者に e ラーニングコンテンツの作成及び使用を申し出て、当該著作者の許諾を得た場合には、次に掲げる事項を行うことができる。

- (1) 講義の撮影並びに撮影した内容及び講義で配布した資料の編集
- (2) 講義の内容及び講義で配布した資料の翻訳
- (3) e ラーニングコンテンツの配信
- (4) バックアップを目的とした CD-ROM, DVD-ROM, フラッシュメモリ等の電磁的記憶媒体への e ラーニングコンテンツの複製
- (5) e ラーニングコンテンツの学生等への視聴及び学修履歴の取得の許可
- (6) その他著作者及びセンターの双方が e ラーニングコンテンツの作成及び使用に必要と認めた事項

2 前項第 1 号の編集は、次条に規定する著作者の校正に基づく編集に限る。ただし、e ラーニングコンテンツの全部又は一部が第三者の著作権、肖像権等を侵害しているおそれがあると管理者が判断した場合には、著作者の同意を得ることなく必要な範囲で編集を行うことができる。

3 第 1 項の許諾を行うに当たって、著作者と管理者は、別に定める e ラーニングコンテンツの作成及び使用に関する確認書を作成するものとする。

(校正)

第 5 条 センターは、e ラーニングコンテンツを作成するに当たっては、著作者の校正を受けるものとする。

2 前項の規定により校正を行う著作者は、自己の e ラーニングコンテンツが第三者の著作権、肖像権等を侵害しないよう適切に校正を行わなければならない。

3 著作者は、校正を行った後に、自己の e ラーニングコンテンツが第三者の著作権、肖像権等を侵害するおそれがあると認めたときは、速やかに管理者に報告しなければならない。

4 前項の報告があった場合には、センターと著作者は相互の協力の下、当該第三者から利用許諾を得る、e ラーニングコンテンツの該当部分を削除する等の適切な措置を講じるものとする。

(期間)

第 6 条 第 4 条第 1 項に定める許諾期間は原則として無期限とする。ただし、同条同項第 5 号に規定する学修履歴の取得の許可に係る許諾期間については、著作者が本学に在職する期間

とし、著作者が退職した日をもって、許諾期間が終了するものとする。

2 前項本文の規定にかかわらず、著作者が一定の許諾期間を定めることを希望する場合には、別紙様式により管理者に申し出ることにより、許諾期間を定めることができるものとする。

3 第1項ただし書きの規定にかかわらず、著作者が退職した後、当該著作者の後任の講義担当者が、当該著作者のeラーニングコンテンツの学生等への学修履歴の取得を希望し、かつ当該著作者の同意を得た場合には、別紙様式により管理者に申し出ることにより、当該著作者の退職後も引き続き学修履歴の取得を許可できるものとする。

(視聴及び学修履歴の取得)

第7条 第4条第1項第5号の規定に基づきセンターがeラーニングコンテンツの視聴を許可することができる者は、次に掲げる者とする。

(1) 本学の学部学生、大学院学生、聴講生、科目等履修生、研究生及びインターンシップ研修生

(2) 本学と学術交流協定を締結した大学（外国の大学を含む。）の学生

(3) その他著作者とセンターの双方が、eラーニングコンテンツを視聴させることが適当と認める者

2 前項の規定にかかわらず、著作者が視聴者の範囲を制限したい場合には、別紙様式により管理者に申し出ることにより、視聴者の範囲を制限することができる。

3 第4条第1項第5号の規定に基づき、センターが学修履歴の取得を許可することができる者は、次に掲げる者とする。

(1) 本学の社会人大学院学生、科目等履修生及び特別聴講学生

(2) 本学大学院工学院及び情報科学研究科の学生（前号に掲げる者を除く。）のうち、通常の授業に出席困難な特別な事情があると指導教員及び科目担当教員が認めたもの

4 視聴及び学修履歴の取得の許可の手續きに関し必要な事項は、別に定める。

(著作権侵害等に対する措置)

第8条 eラーニングコンテンツに関する著作権侵害等による訴訟等が発生した場合には、センターは著作者に対し事務的な支援を行い、協力してこれに対処するものとする。

(個人情報)

第9条 著作者又はセンターがeラーニングコンテンツの作成において取得した個人情報については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、国立大学法人北海道大学個人情報管理規程（平成17年海大達第65号）その他の関連法規に基づき適正に取り扱わなければならない。

(移転)

第10条 著作者は、自己が行った講義にかかる著作権が第三者に移転する場合には、この内規に規定する自己の権利及び義務を当該第三者に承継させなければならない。

(事務)

第11条 eラーニングコンテンツの著作権等の取扱いに関する事務は、教務課工学系教育研究センター事務室において処理する。

(その他)

第12条 この内規に定めるもののほか、eラーニングコンテンツの著作権等の取扱いについて必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成24年3月5日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年10月1日から施行する。

別紙様式（第6条、第7条関係）

平成 年 月 日

管 理 者 殿

著作者

氏名 _____ 印
(自筆の場合は押印不要)

申出者（著作者と同一の場合は記載不要）

氏名 _____ 印
(自筆の場合は押印不要)

e ラーニングコンテンツに関する

1. 許諾期間設定
2. 許諾期間延長出書
3. 視聴者の範囲変更

北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センターにおけるeラーニングコンテンツに関する著作権等の取扱い内規（ 1. 第6条第2項 2. 第6条第3項 3. 第7条第2項 ）の規定に基づき、下記の通り申し出ます。

記

※申し出る項目番号に丸を付けてください。（下線部は記載例です。）

1. 現在、第6条第1項の規定により無期限として取り扱われている許諾期間を、（ 〇〇年〇〇月〇〇日まで ）に変更願います。
2. 著作者の退職により許諾期間が終了している学修履歴の取得の許可について、（ 許諾期間を定めない旨 ）著作者の同意を得ましたので、許諾期間を延長願います。
3. 視聴者の範囲について（ 第7条第1項第2号における外国語圏の学生を除いていただくよう ）変更願います。（理由：専門性に特化しており特別な英訳をしなければ内容が適切に伝わらないと考えられるため）

工学院学生に係る e ラーニング授業による単位認定に関する要項

(平成 27 年 2 月 6 日代議員会決定)

(趣旨)

第 1 条 この要項は、北海道大学大学院通則第 21 条の 5 の規定に基づき、e ラーニング授業の単位認定について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この要項において e ラーニング授業とは、対面授業を伴わず、全て北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター（以下「CEED」という。）の e ラーニングコンテンツ及び e ラーニングシステムを利用して行う授業をいう。

(受講対象)

第 3 条 前条の授業を受講することができるのは、次のいずれかに該当する者で、授業担当教員及び指導教員が履修を許可した者とする。

- (1) 博士後期課程社会人学生
- (2) 海外留学又は長期インターンシップに参加する学生
- (3) やむを得ない事由で、対面授業に出席することができない学生
- (4) 工学院が行う特別なプログラム等を履修する非正規学生

(履修登録)

第 4 条 前条により履修を許可された学生は、次に掲げる手続きを行う。

- (1) CEED へ「e ラーニング授業履修申請書」（所定様式）を提出するとともに、e ラーニングシステムの利用申請をする。
 - (2) 対面授業の時間割に従い ELMS により履修登録をする。
- 2 受講対象が海外留学の場合における履修登録は、派遣先大学での学修計画を考慮し、学期毎に 2 科目程度とする。

(単位認定の基準)

第 5 条 授業担当教員は、次に掲げる基準に基づき、単位を認定するものとする。

- (1) 毎回の授業において、受講学生から視聴が終了した旨の連絡を受け、受講の確認を行うこと。
- (2) 前号の受講を確認した後速やかに電話、ファックス、電子メール及び e ラーニングシステム等の適切な方法を利用し、設問解答、添削指導及び質疑応答等による十分な指導を行うこと。
- (3) 授業に関して学生が意見を交換する機会を確保すること。
- (4) 成績評価は教員の権限と責任において厳正に行うこと。
- (5) 具体的な成績評価の基準についてはシラバス等に明記すること。

附 記

この要項は、平成 27 年 4 月 1 日から実施する。

工学部学生に係る e ラーニング授業による単位認定に関する要項

(平成 27 年 3 月 4 日 学部代議員会決定)

(趣旨)

第 1 条 この要項は、北海道大学通則第 17 条の 2 及び第 33 条第 2 項の規定に基づき、e ラーニング授業の単位認定について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この要項において e ラーニング授業とは、対面授業を伴わず、全て北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター（以下「CEED」という。）の e ラーニングコンテンツ及び e ラーニングシステムを利用して行う授業をいう。

(受講対象)

第 3 条 前条の授業を受講することができるのは、次のいずれかに該当する者で、授業担当教員及びコース長が履修を許可した者とする。

- (1) 海外留学又は長期インターンシップに参加する学生
- (2) やむを得ない事由で、対面授業に出席することができない学生
- (3) 工学部が行う特別なプログラム等を履修する非正規学生

(履修登録)

第 4 条 前条により履修を許可された学生は、次に掲げる手続きを行う。

- (1) CEED へ「e ラーニング授業履修申請書」（所定様式）を提出するとともに、e ラーニングシステムの利用申請をする。
- (2) 対面授業の時間割に従い、ELMS により履修登録をする。
- 2 各学期における履修登録の上限単位数は対面授業と同様に取り扱う。
- 3 前項の規定にかかわらず、受講対象が海外留学の場合における履修登録は、派遣先大学での学修計画を考慮し、2 科目程度とする。

(単位認定の基準)

第 5 条 授業担当教員は、次に掲げる基準に基づき、単位を認定するものとする。

- (1) 毎回の授業において、受講学生から視聴が終了した旨の連絡を受け、受講の確認を行うこと。
- (2) 前号の受講を確認した後速やかに電話、ファックス、電子メール及び e ラーニングシステム等の適切な方法を利用し、設問解答、添削指導及び質疑応答等による十分な指導を行うこと。
- (3) 授業に関して学生が意見を交換する機会を確保すること。
- (4) 成績評価は教員の権限と責任において厳正に行うこと。
- (5) 具体的な成績評価の基準についてはシラバス等に明記すること。

(卒業要件)

第6条 eラーニング授業により修得した単位は、次の表のとおり卒業に必要な単位に含めることができるものとする。

学科	卒業要件	卒業要件に含めることができるeラーニング授業の単位数	備考
応用理工系学科	127 単位	63 単位	左欄には、編入学等及び転学の場合を除き、次の項目で修得した単位数（合わせて 60 単位まで）を含む。 (1) 他学部履修等 (2) 他の大学又は短期大学における履修等（外国を含む。） (3) 大学以外の教育施設等における学修 (4) 入学前の既修得単位
情報エレクトロニクス学科	130 単位	66 単位	
機械知能工学科	130 単位	66 単位	
環境社会工学科	126 単位	62 単位	

2 前項にかかわらず、次に掲げる学科又はコースにおいては、卒業に必要な単位に含めることができるeラーニング授業の単位数の上限を次のとおり定める。

- (1) 応用理工系学科応用物理工学コース 10 単位
- (2) 情報エレクトロニクス学科 6 単位（ただし、コース長が特別に認める場合、この上限を超えて卒業に必要な単位に含めることができる。）
- (3) 環境社会工学科資源循環システムコース 4 単位

附 記

この要項は、平成 27 年 4 月 1 日から実施する。

北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター e ラーニングシステム開発部
における職務に関して

平成 25 年 10 月 30 日
工学系教育研究センター長裁定

北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター（以下「センター」という。）の e ラーニングシステム開発部（以下「開発部」という。）における職務については、センター内規第 2 条及び第 7 条に定める工学研究院，工学院，総合化学院，情報科学研究科及び工学部（以下「工学系部局」という。）に係る目的及び職務の他，以下のとおり定める。

（工学系部局の電子教材制作等）

- 1 工学系部局での活用を目的とする電子教材について，開発部が制作，編集及び配信並びに講義及び講演会の中継を行うこと。
- 2 工学系部局での活用を目的とする電子教材のうち，開発部以外によって一部又は全部が制作済みのものであって，かつ工学系部局の教職員がその著作権を有しているものについて，開発部が編集及び配信を行うこと。

（工学系部局以外の電子教材制作等）

- 3 工学系部局以外の部局等の長から開発部の協力に係る要請があった場合は，工学研究院長及びセンター長が承認した場合に限り，開発部が電子教材を制作，編集及び配信並びに講義及び講演会の中継を行うことができる。

高等教育推進機構オープンエデュケーションセンターと大学院
工学研究院工学系教育研究センターの連携に関する覚書

高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター（以下「OEC」という。）と大学院工学研究院工学系教育研究センター（以下「CEED」という。）は、OEC の任務である本学における ICT を活用した教育及び学習支援並びにオープン化した教育資源（以下「OER」という。）に関する研究開発を推進するため、以下のとおり連携を図るものとする。

（連携の内容）

- 1 OEC と CEED は、本学における全学教育科目等の OER 制作及び学科・専攻と連携した OER 利活用による横断的教育支援について相互に協力するものとする。

（任務の遂行）

- 2 OEC と CEED は、協力して実施する業務を遂行するため、OEC は CEED の施設設備を整備するとともに、OEC において平成 27 年 4 月 1 日以降に採用する特定専門職員及び技術補助員各 1 名（以下「両職員」という。）を CEED に派遣するものとする。
- 3 CEED は、両職員が CEED において従事するために必要な環境、機材、備品、消耗品等を提供するものとする。
- 4 両職員は、OEC の定例会議に出席し、業務実績について報告するものとする。

（経費）

- 5 両職員の給与は OEC が負担する。
- 6 3 に係る経費のうち、前項に定める経費以外の経費については、OEC 及び CEED が協議の上定めるものとする。ただし、OEC が整備した施設設備に係る物品費、保守費、光熱費等については、原則として OEC が負担するものとする。

（勤務管理）

- 7 両職員の超過勤務時間は、特定専門職員が月 10 時間、技術補助員が月 2 時間を限度とする。ただし、これによりがたい場合は、OEC と CEED が協議の上定めるものとする。
- 8 両職員の勤務時間の監督者は、学務部学務企画課長とし、本人による打刻を以て管理するものとする。

（有効期間）

- 9 本覚書の有効期間は、覚書締結日から平成 28 年 3 月 31 日までとする。ただし、本覚書の有効期間が満了する 3 ヶ月前までに OEC 及び CEED のいずれからでも終了の意思表示がない場合は、さらに 1 年延長するものとし、以後同様に自動的に更新されるものとする。

（その他）

- 10 本覚書に定めのない事項については、OEC 及び CEED が協議の上定めるものとする。

以上の証として、本覚書を 2 通作成し、高等教育推進機構長及び大学院工学研究院長が署名の上、各 1 通を保有する。

平成 27 年 4 月 1 日

高等教育推進機構長

新田 孝彦

大学院工学研究院長

名和 豊春

《国際性啓発教育プログラム開発部》

- 2-1 第1学期実践科学義実英語・Brush-Up 英語講座 案内
 - 2-1-1 実践科学技術英語 受講案内
 - 2-1-2 実践科学技術英語 募集案内
 - 2-1-3 Brush-Up 英語講座 受講案内
 - 2-1-4 Brush-Up 英語講座 募集案内
- 2-2 夏休み Brush-Up 英語講座 案内
 - 2-2-1 夏休み Brush-Up 英語講座 S&W コース 受講案内
 - 2-2-2 夏休み Brush-Up 英語講座 4泊5日英語合宿 受講案内
 - 2-2-3 夏休み Brush-Up 英語講座 募集案内
- 2-3 第2学期 Brush-Up 英語講座 案内
 - 2-3-1 第2学期 Brush-Up 英語講座 受講案内
- 2-4 第2学期 Brush-Up 英語講座 案内
 - 2-4-1 English Composition 受講案内
 - 2-4-2 討論入門 受講案内
 - 2-4-3 ビジネス英会話コース 受講案内
 - 2-4-4 アカデミック科学英語コース 受講案内
- 2-5 春休み Brush-Up 英語講座 案内
 - 2-5-1 S&W コース 受講案内
 - 2-5-2 基礎英語コース 受講案内
 - 2-5-3 基礎英語コース 追加募集案内
 - 2-5-4 春休み Brush-Up 英語講座 受講前後テストのお知らせ

大学院生の皆さんへ
平成27年度 工学院共通科目 (2単位)
「実践科学技術英語」



集中講義 (全2回)

山崎敦子講師 (芝浦工業大学教授) による‘分かってもらえる論文英語’の発想で、英語論文の構成や書き方、テクニック等について学ぶ。

- ① 科学技術論文の書き方 **4月18日 (土)**
- ② 英語論文の推敲と英語口頭表現の発表の仕方 **5月16日 (土)**

プレゼンテーション集中演習 (全2回：土曜日に集中演習)

クリアな発表方法、論理的な流れ・内容構成、有益な表現方法等をプレゼンテーションの実践を通じて取得する。

- ・ 7人程度の少人数制クラスを編成
- ・ 外国人講師による英語プレゼンテーションの実践演習 (日程は受講案内を参照)

オリエンテーションを開催します
4月2日 (木) 16:45～ B32講義室

受講申請締切
英語力試験

4月7日 (火) 12:00 (正午)
4月9日 (木) 16:30～ (CEED演習室 L200)

受講要件

- ・ 工学院、情報科学研究科及び総合化学院 (工学研究所属の教員が指導する学生) 対象
※ 博士後期課程在籍者を優先。
- ・ 受講者の選抜、クラス分けのための英語力試験を実施。



詳細は CEED事務室 (L202)
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当者：中道

大学院生の皆さんへ
平成27年度 工学院共通科目(2単位)

「実践科学技術英語」



集中講義（全2回）

山崎敦子講師（芝浦工業大学教授）による‘分かってもらえる論文英語’の発想で、英語論文の構成や書き方、テクニック等について学ぶ。

- ①科学技術論文の書き方 4月18日（土）
- ②英語論文の推敲と英語口頭表現の発表の仕方 5月16日（土）

プレゼンテーション集中演習（全2回：土曜日に集中演習）

クリアな発表方法、論理的な流れ・内容構成、有益な表現方法等をプレゼンテーションの実践を通じて取得する。

- ・7人程度の少人数制クラスを編成
- ・外国人講師による英語プレゼンテーションの実践演習（日程は受講案内を参照）

受講申請 締切

4月7日（火） 12:00（正午）

申請書はCEED事務室までお持ちください（メールでは受け付けません）

英語力試験 4月9日（木）16:30～（CEED演習室 L200）

受講要件

- ・工学院、情報科学研究科及び総合化学院（工学研究院所属の教員が指導する学生）対象
※ 博士後期課程在籍者を優先。
- ・受講者の選抜、クラス分けのための英語力試験を実施。

詳細は CEED事務室（L202）
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当者：中道





学部2・3・4年生、大学院生のみなさんへ
Brush-Up英語講座
受講生募集

受講料の半額補助！ 学内開催！

オリエンテーションを開催します！

4月2日(木) 16:45～

(場所: B32講義室)

ビジネス英語コース (実施機関: IAY)

- ・7～10人の少人数制 月水or火木 週2回・90分×15回
- ・セールス・エンジニアリングの要素を取り入れ、交渉力と実践力を養います
- ・ビジネスメールに対応できる語彙力と表現力、流暢さのみならず、ビジネスシーンにふさわしい正確な会話力、マナーを身につけます
- ・IAY大通り校の無料フリートークレッスン(60分) 12回付き
- ・受講料の学生負担は**18,000円**+テキスト代のみ



TOEIC真剣学習コース (実施機関: オレンジバード)

- ・最大12名の少人数制、水or金 週1回・180分×10回
- ・TOEIC必須語彙を徹底的に習得します
- ・大量のリスニング問題実施で自信がつかます
- ・講座は英語で行われるので、会話力向上にも寄与します
- ・TOEICのパート別対策を完全網羅
- ・TOEIC公開テスト1回分受験料を全額免除します
- ・受講料の学生負担は**16,000円**+テキスト代のみ



受講申請締切 4月9日(木) 12:00(正午)

レベルチェックテスト

ビジネス英語

4月13日(月)、14日(火) 17:30～21:00 (L200演習室)

※1人10分程度

TOEIC真剣学習コース

4月14日(火) 16:30～18:30 (B32講義室)

※工学部2～4年生、工学院、情報科学及び総合化学院(工学研究所属の教員が指導する学生)が対象です。

詳しくは、CEED事務局 (L200)
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話: 706-7163 担当: 中道



学部2・3・4年生、大学院生のみなさんへ Brush-Up英語講座 受講生募集

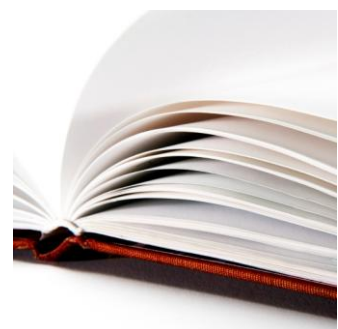
受講料の半額補助！ 学内開催！

**受講申請 締め切り
4月9日(木) 12:00 (正午)**

受講申請書と誓約書をCEED事務室までお持ちください（メールでは受け付けません）

ビジネス英語コース（実施機関：IAY）

- ・7～10人の少人数制 月水or火木 週2回・90分×15回
- ・セールス・エンジニアリングの要素を取り入れ、交渉力と実践力を養います
- ・ビジネスメールに対応できる語彙力と表現力、流暢さのみならず、ビジネスシーンにふさわしい正確な会話力、マナーを身につけます
- ・IAY大通り校の無料フリートークレッスン(60分) 12回付き
- ・受講料の学生負担は**18,000円**+テキスト代のみ



TOEIC真剣学習コース（実施機関：オレンジバード）

- ・最大12名の少人数制、水or金 週1回・180分×10回
- ・TOEIC必須語彙を徹底的に習得します
- ・大量のリスニング問題実施で自信がつかます
- ・講座は英語で行われるので、会話力向上にも寄与します
- ・TOEICのパート別対策を完全網羅
- ・TOEIC公開テスト1回分受験料を全額免除します
- ・受講料の学生負担は**16,000円**+テキスト代のみ



受講申請締切 4月9日(木) 12:00 (正午)

レベルチェックテスト

ビジネス英語

4月13日(月)、14日(火) 17:30～21:00 (L200演習室)

※1人10分程度

TOEIC真剣学習コース

4月14日(火) 16:30～18:30 (B32講義室)

※工学部2～4年生、工学院、情報科学及び総合化学院（工学研究所属の教員が指導する学生）が対象です。

詳しくは、CEED事務室 (L200)
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当：中道

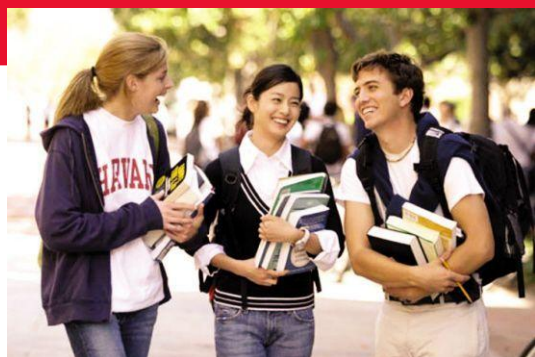
大学院生、学部2、3、4年生の皆さんへ

Brush-Up英語講座

Speaking と Writing に強くなる！コース

受講生募集

＊工学院、情報科学及び総合化学院（工学研究所属の教員が指導する学生）、工学部2～4年生が対象です。



Did you know?

先輩たちは、
インターンシップに行く前に、もっと
話したり、書いたりする練習をしておけば
よかったと後悔しています

- ◆苦手意識の強い『アウトプット（Speaking&Writing）』に特化した新しいコースです
- ◆インターンシップ、留学などに備えるように、繰り返し練習します
- ◆TOEFLの問題を使い、具体的な対策を学びます
- ◆ネイティブ講師による短期集中型対策レッスン
- ◆最大20名の少人数制

期 間：8月5日（水）～11日（火）9：00～13：00

受講料：10,000円 プラス テキスト代（6,000円程度）

開催します

オリエンテーション

7月13日（月）16：30～（B-31）

受講申請締切 7月24日（金） 12：00（正午）



詳しくは、CEED事務室（L202）
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当：中道

大学院生、学部2、3、4年生の皆さんへ

Brush-Up英語講座

4泊5日英語合宿

受講生募集

*工学院、情報科学及び総合化学院（工学研究所属の教員が指導する 学生）、工学部2～4年生が対象です。

- ◆話す機会を徹底的に持つことで英語への抵抗をなくします
- ◆会話やディスカッションに臨機応変に対応できるスキルを養成します
- ◆グループワーク中心の授業です
- ◆プライベートな時間以外はすべて英語を使用します
- ◆バーベキューパーティーで楽しもう！

オリエンテーションを開催します
7月13日（月）16：30～（B-31）

期間：9月24日（木）～9月28日（月）
場所：大滝セミナーハウス
料金：18,000円
（宿泊費・食費・教材費実費のみ学生負担）

**毎年受講生の評価の高い『夏の英語合宿』
今年は、あなたの英語力が上がります！**

受講申請締切 7月24日（金） 12：00（正午）
CEEDホームページより申請書をダウンロードし、提出



詳しくは、CEED事務室（L202）
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当：中道

科学技術政策特論受講の皆さんへ

Brush-Up英語講座 受講生募集

☆Speaking と Writing に
強くなる！コース
☆4泊5日英語合宿

『SpeakingとWritingに強くなる！コース』

日本人学生の苦手とされているSpeakingとWritingをTOEFL-iBTのテキストを使い、毎日4時間（9：00～13：00）7日間に渡り、実践的なスキル及び勉強方法を学びます。

Active skills向上は、TOEFL-iBT、TOEIC SWの高得点を狙うのみならず、アカデミック、ビジネスの場面においても英語で自分を表現するのに必要です。

受講料も10,000円（プラス テキスト代6,000円程度）と大変お得です。

8月5日（水）～11日（火）の期間は、大学での指導経験豊富なイギリス人講師と一緒に『英語の発信力』を上げましょう！

『4泊5日英語合宿』

英語合宿は、その名の通り、英語で4泊5日生活をする合宿で、長時間の英語漬けにより英語での会話にも慣れる環境を提供します。

それだけでなく、毎日1つのトピックについて掘り下げて理解を深める講義を展開し、TOEICやTOEFL等のスコアUPも見込めます。講義はすべて英語で行われるので、Listeningのみならず、Speakingの力も鍛えられるでしょう！

参加料は、宿泊料、食事代、諸雑費の18,000円のみで、受講料等は、CEEDでサポートするので、とてもお得です！

最終日には、熱く濃い合宿を乗り越えた仲間や先生とのバーベキューも待っています。

9月24日（木）～28日（月）は、今年の夏休み最後の思い出として、英語合宿に参加しましょう！

申請締切：7月29日（水）まで延長されました！

申請書に受講料を添えて、CEED事務室までお持ちください。



申請書（応募用紙）はCEED事務室（L-202）

もしくは、←CEEDホームページより取得ください。

ご不明な点は、

CEED事務室（L202） <http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/> 電話：706-7163 担当：中道



Center for Engineering Education Development Presents

2015後期Brush-Up英語講座

2学期は4コース6クラス開講！

《新講座》

①English Compositionコース(講師: Mr. Stephen Burrow)

- ・英作文の基本を学び、批判的に考える能力、作文力を強化するコース。
- ・文の構成や言い回しなど講師より直接指導を受けられるので、納得のいく文章を自分で書けるようになる！
- ・受講料の学生負担は10,000円(教材費込み)
- ・定員15名
- 120分 週1回 全10回
- 11/4～1/20(12/23、30を除く)水曜日16:30～18:30

《新講座》

②討論入門コース(講師: Mr. Jon Thomas)

- ・討論に必要な知識や語彙を学び、繰り返し練習する。
- ・受講料の学生負担は10,000円(教材費込み)
- ・定員20名
- 90分 週1回 全10回
- 11/2～1/25(11/23、12/28、1/11を除く)月曜日16:45～18:15

③ビジネス英語コース(講師: Mr. Shaun Hoggard)

- ・流暢な日常会話だけでなく、ビジネスの場でのスムーズな会話やプレゼンテーションを学びます。
- ・受講料の学生負担は10,000円(教材費込み)
- ・1クラス定員20名程度
- 90分 週2回 全15回
- 11/10～1/8(12/25、29、1/1を除く)火金曜日
- (クラスA)17:00～18:30、(クラスB)18:45～20:15

④アカデミック科学英語コース(実施機関: オレンジバード)

- ・語彙力増強を目指して、毎回新しい単語を習得します。
- ・要約文、小論文の構造や作り方を練習します。
- ・毎回宿題をご用意します。添削後返却します。
- ・受講料の学生負担は22,400円(教科書代金含む)。
- ・1クラス定員12名程度。
- 180分 週1回 全10回
- (クラスA) 11/10～1/19(12/29を除く)火曜日16:45～19:45
- (クラスB) 11/5～1/21(12/24、31を除く)木曜日 16:45～19:45

オリエンテーションを開催します

10月14日(水) 16:30～B-11講義室



60分程予定しています

詳しくは、CEED事務局(L202)
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話: 706-7163 担当: 中道



2015後期Brush-Up英語講座

新講座

English Composition

英作文の基本

小論文の書き方を習ったことはありますか？ルールを覚え、行を重ねるごとにより深く、発展した内容になるように何度も書き直しましたね。

英語で小論文を書くのは、難しいですか？

ルールがあり、そして、内容をより意味のあるものにしていくという点では同じです。洗練された英作文を書いてみましょう！

日時：11月4日～1月20日（12/23、30は除く）

水曜日120分×10回

16：30～18：30

講師：Mr. Stephen Burrow

受講料：10,000円(教材費込み) 場所：C-206

**CEEDが
受講料補助！**



こんな悩みを持っていませんか？

- ・英語をやり直したい
- ・英語で長文を書くのが苦手
- ・インターンシップや奨学金などの課題英作文、志望動機を書くことがある
- ・TOEIC、TOEFL-iBT、IELTS、英検のWriting対策は、どうすればいいの？

オリエンテーションを開催します

10月14日（水）16：30～B-11講義室



60分程予定しています

詳しくは、CEED事務局（L202）
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
 電話：706-7163 担当：中道



2015後期Brush-Up英語講座

討論入門

Introduction to

Critical Thinking and Delivering Speeches

日本語でも難しさを感じる人が多いディベート。

英語で自分の意見を言えますか？強く主張するあまり、相手の意見を押しつけていませんか？

新講座「討論入門」では、国際人として通用する討論の基礎を学び、実践に繋がる練習を繰り返します。

CEEDが
受講料補助！

日 時：11月2日(月)～1月25日(月) 16：45～18：15
(11/23、12/28、1/11は除く) 90分×10回

講 師：Mr. Jon Thomas

受講料：10,000円(教材費込み) 場所：C-206

You often encounter situations where you have to express your opinions in academic, business or social situations. This course aims to build knowledge to express yourself in English in these situations and improve your debating skills.

オリエンテーションを開催します

10月14日(水) 16：30～B-11講義室



60分程予定しています

詳しくは、CEED事務室 (L202)
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当：中道



2015後期Brush-Up英語講座

ビジネス英会話コース



英語で
たくさん
話す！

英語で話す練習をしましょう！
大学の外や社会に出てから使える表現を学びながら、自分の気持ちや意見を伝えられるように練習します。

CEEDが受講料補助！
教材費込みで10,000円

CEEDが
受講料補助！

日時：11月10日(火)～1月8日(金)
(12/25、29、1/1は除く)

火・金曜日90分×15回

クラスA 17:00～18:30

クラスB 18:45～20:15

受講料：10,000円(教材費込み) 場所：C-207

オリエンテーションを開催します

10月14日(水) 16:30～B-11講義室



60分程予定しています

詳しくは、CEED事務室 (L202)
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当：中道



2015後期Brush-Up英語講座

アカデミック科学英語コース

(実施機関：オレンジバード)

- ・ 最大10名までの少人数制クラス。
- ・ 週1回×8回 レベル別2クラス開講。16：30～19：30
- ・ 学会での発表や論文執筆に必要な高い理解力、表現力、文章力を身につける実用的な内容です
- ・ 進学や就職に備えての英語力強化対策にも最適
- ・ 学生の受講料負担は20,000円（別途テキスト代）

**CEEDが
受講料の半分の補助！**

日 時：クラスA（火曜日）11月10日～1月19日
（12/29は除く）180分×8回

16：45～19：45

クラスB（木曜日）11月5日～1月21日
（12/24、31は除く）180分×8回

16：45～19：45

受講料：20,000円(別途テキスト代) 場所：C-206

オリエンテーションを開催します

10月14日（水）16：30～B-11講義室



60分程予定しています

詳しくは、CEED事務局（L202）
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
電話：706-7163 担当：中道

SpeakingとWritingに 強くなる！コース



春休み短期集中英語プログラム



- ◆ 苦手意識の強い『アウトプット(Speaking & Writing)』に特化したコースです
- ◆ インターンシップ、留学などに備えるように、繰り返し練習します
- ◆ 大学での教育経験豊富なイギリス人講師による短期集中型対策レッスン
- ◆ 最大15名の少人数制
- ◆ CEEDの受講料補助で、学生負担を軽減！
- ◆ 受講前後にレベルチェックテストがあります

日時: 2月8日(月)～2月17日(水)

*2/11(祝)、13(土)、14(日)を除く

9:00～13:00(P-354) 240分/クラス×全7回

学生負担受講料: 10,000円(プラス テキスト代6000円程度)



オリエンテーション

1月5日(火)17:00～

B-11講義室

申請受付締切

1月22日(金)正午

CEED事務室に申請書を提出
定員になり次第締切

講義の内容

Speaking
Writing

上記の他に、毎回

TOEIC Listening & Reading 対策もカバー





基礎英語コース 英語をやり直そう！

春休み短期集中英語プログラム

日本人講師による日本語で教える
英会話、発音、語彙強化

開講日2月8日(月)～2月17日(水) *2/11、13、14を除く

17:15～19:15(C-208講義室)120分/クラス×全7回

学生負担受講料:なし 受講前後にレベルチェックテストがあります

オリエンテーション

1月5日(火) 17:00～

B-11講義室

申請受付締切

1月22日(金)正午

CEED事務室に申請書を提出
定員になり次第締切

- ・センター試験以来英語を勉強していない
- ・英語を使う機会があまりないので、いざ話そうと思っても単語が出てこない
- ・自信がない
- ・もう一度英語を勉強し直したいが、英語での授業だと難しすぎる
- ・就職・進学のためにTOEIC等のスコアを提出したい
- ・大学院に進学したい

この機会に

英語を基礎から学びませんか？





基礎英語コース 英語をやり直そう！

春休み短期集中英語プログラム

追加募集決定

Class Bのみの募集になります

日本人講師による日本語で教える
英会話、発音、語彙強化

開講日

Class A

2月8日(月)～2月17日(水) *2回
17:15～19:15(P-354講義室) 120分/クラス×全7回

満員御礼

Class B

2月18日(木)～2月29日(月) *2/20、21、25を除く
17:15～19:15(P-354講義室) 120分/クラス×全7回

学生負担受講料:なし 受講前後にレベルチェックテストがあります

申請締切:

2月5日(金)正午

CEED事務室に申請書を提出

- ・センター試験以来英語を勉強していない
- ・英語を使う機会があまりないので、いざ話そうと思っても単語が出てこない
- ・自信がない
- ・もう一度英語を勉強し直したいが、英語での授業だと難しすぎる
- ・就職・進学のためにTOEIC等のスコアを提出したい
- ・大学院に進学したい

この機会に

英語を基礎から学びませんか？



春休み英語短期集中プログラム 受講前後テストのお知らせ

①SpeakingとWritingに強くなる！コース、②基礎英語コース
英語をやり直そう！の受講者は、下記の日程で必ずテストを
受けてください

受講前

1/22(金) 16:30-18:30(C-214)

1/25(月) 16:30-18:30(C-212)

2/17(水) 14:00-16:00(P-354)

2/18(木) 9:00-11:00(P-354)

受講後

2/17(水) 14:00-16:00(P-354)

2/18(木) 9:00-11:00(P-354)

3/1(火) 9:00-11:00(C-214)

3/1(火) 14:00-16:00(C-214)

講座日程

①SpeakingとWritingに強くなる！コース

2/8、9、10、12、15、16、17 9:00-13:00(P-354)

②基礎英語コース英語をやり直そう！

Class A 2/8、9、10、12、15、16、17 17:15-19:15(P-354)

Class B 2/18、19、22、23、24、26、29 17:15-19:15(P-354)



《産学連携教育プログラム開発部》

- 3-1 インターンシップガイダンス
 - 3-1-1 第1回インターンシップガイダンス
 - 3-1-2 第2回インターンシップガイダンス
- 3-2 インターンシップ説明会・募集案内
 - 3-2-1 NTT 夏期インターンシップ説明会
 - 3-2-2 TOSHIBA インターンシップ説明会
 - 3-2-3 海外インターンシップ説明会
 - 3-2-4 IAESTE 説明会
 - 3-2-5 Rice University and the TOMODACHI-Initiative 案内
 - 3-2-6 IAESTE 募集ポスター
 - 3-2-7 インターンシップ説明会 (Fraunhofer Institute)
 - 3-2-8 春休み特別プログラム募集
- 3-3 海外インターンシップ報告会
 - 3-3-1 第1回海外インターンシップ報告会
 - 3-3-2 第2回～第7回海外インターンシップ報告会
 - 3-3-3 第8回～第10回海外インターンシップ報告会
- 3-4 インターンシップ交流協定・覚書
 - 3-4-1 Seoul National University
 - 3-4-2 Ecole Nationale Supérieure de Mécanique et D'Aérotechnique
 - 3-4-3 Tampere University of Applied Sciences
 - 3-4-4 Rice University
 - 3-4-5 Chulalongkorn University
 - 3-4-6 Queensland University of Technology
 - 3-4-7 International Islamic University Malaysia
 - 3-4-8 Kasetsart University
 - 3-4-9 Universiti Sains Malaysia
 - 3-4-10 University of Tulsa
 - 3-4-11 Hanoi University of Mining and Geology
 - 3-4-12 Ho Chi Minh City University of Technology
 - 3-4-13 Georg Agricola zu Bochum
 - 3-4-14 Czech Technical University

インターンシップガイダンス

**海外で仕事・
研究をしてみ
ませんか？**

日時： 平成 27 年 4 月 3 日（金） 15:00～16:15

場所： オープンホール

内容： 1. CEED インターンシップとは
2. 手続きの仕方

注：（IAESTE 合格者も含む）CEED の支援を受けたい学生は本ガイダンス出席は必須

- CEED は**海外で働いてみたい**という熱意のある学生をサポートします！（国内インターンシップもサポートします）
- 特に海外インターンシップに行った学生の**能力が飛躍的に向上**することが分かっています。（野口他、「大学院共通科目としてのインターンシップとその教育効果」工学教育 56-4, p. 69（2008））



CEED

**海外インターン
シップへ行ってみ
ませんか？**



詳細は裏面を読んでください。

2015 年度 2 回目の インターンシップガイダンス を開催します。

**日時 2015 年 11 月 10 日(火)、
12 日(木) 12:10~12:40**

火曜か木曜のどちらかに参加してください。

場所 B11 教室

CEED 支援: 往復の交通費

応募条件:

(1) 院生(工学系)および大学院試験に合格している B4 および B3 の工学部学生。

(2) 院生の場合はインターンシップ第一か第二を、学部生の場合は専攻のインターンシップ科目を履修すること。

派遣: 選考の上決定。

期間: 受け入れ先との協議により決定。(最低 4 週間)

例) 2016 年 2 月中旬から 3 月末までの 1.5 ヶ月。

派遣先: ガイダンスのときに説明します。

平成 27 年度NTT夏期 インターンシップ説明会

日時: 5 月 12 日(火)16:30~17:30

場所: B12

原則、平成 26 年 8 月上旬から 9 月中旬の間の4週間、 または 10 月上旬から 12 月下旬の 3 ヲ月

- NTT研究所全体の紹介 * 簡単なNTT研究所全体紹介
- 研究トピックス * 専門について簡単にプレゼン
- サマーインターンシップの概要説明
 * インターンシップ実施要領と応募方法
- 質疑応答

問い合わせ

産学推進本部: onodera@mcip.hokudai.ac.jp

主催: 産学推進本部、

共催: CEED、北海道大学人材育成本部上級人材育成ステーション (S-cubic・I-HoP)

TOSHIBA

株式会社 東芝

インターンシップ説明会

日時：平成 27 年 5 月 28 日（木）16：30～19：00

場所：工学部 B32 講義室

対象：工学院・情報科学研究科・総合化学院所属のMC/DC

会社概要などの説明がありますので、インターンシップに興味がある方もない方もぜひ参加して下さい。

◇プログラム◇

- 挨拶
- 2014 年度研究インターンシップ成果報告
- 2015 年度研究インターンシップ説明会

◇ 第 1 部 東芝概要説明

受入部門概要

◇ 第 2 部 個別テーマ説明

（6 分野分科会に分かれてテーマ個別説明と質疑応答） 《30 分×2 回》

- ①研究開発センター IT 系（RD-1～RD-33）
- ②ライフスタイルソリューション開発センター（LS-1～LS-2）
- ③生産技術センター（CM-1～CM-22）
- ④IoT テクノロジーセンター（SW-1～SW-5）
- ⑤電力社会システム技術開発センター（PI-1～PI-19）
- ⑥半導体研究開発センター（CS-1～CS-3）

※各分科会は平行して行い、学生は興味があるテーマの分科会に参加。
※複数テーマに興味がある学生の為に 2 回行います。

◇申し込み◇

下記連絡先までメールで申込みすること。なお、件名は「東芝インターンシップ説明会・出席希望」とし、本文に所属・学年・氏名・電話番号を記入すること。

【連絡先】

山下 徹 特任教授 北海道大学大学院工学研究院 工学系教育研究センター（CEED）

Mail：t.yamashita@eng.hokudai.ac.jp Tel：011-706-6907

2015 年度派遣

海外インターンシップ
クィーンズランド工科大学(オーストラリア)
モンクット王工科大学(タイ)
説明会

モンクット王工科大学（タイ）



クィーンズランド工科大学
(オーストラリア)



日時 7月9日(木)
16:00~17:30
場所 CEED L200 教室

オーストラリアのブリスベンにあるクィーンズランド工科大学(QUT)での学生生活やタイのバンコク市にあるモンクット王工科大学での研究(機械系)に興味のある人はぜひ出席して下さい。また今年海外インターンシップへ行く学生は必ず出席してください。モンクット王工科大学のポール・ブランド先生はインペリアルカレッジロンドン出身です。

主催・連絡(質問)先：工学系教育研究センター(CEED)

山下 (内線 6907) t.yamashita@eng.hokudai.ac.jp

2015 年度

学部 3、4年生 **IAESTE 説明会** 及び院生が対象！ **海外インターンシップ。**



日時 9月17日(木)、18日(金)
17:00～17:30

場所 L200 教室 木か金の都合の良い方
に出席してください

海外インターンシップで、充実した就業体験をして異文化を理解しよう。海外インターンシップ斡旋機関の IAESTE についての説明をします。試験の応募締め切りが 9 月 30 日に迫っています。

Rice University and the TOMODACHI Initiative are proud to announce the opening of the application cycle for the TOMODACHI-STEM @ Rice University Program. Online applications from Japanese undergraduate students are due by October 16 for the fully-funded program.

The 2016 TOMODACHI-STEM @ Rice University is a five-week research internship program for 10 Japanese undergraduate students majoring in science & engineering (S&E). Held at Rice University in Houston, TX, the program will enable students to gain real world experience with S&E research, provide an introduction to U.S. higher education and provide opportunities for cultural engagement and collaboration with U.S. students.

The program dates are from February 21 – March 27, 2016 and Japanese participants will be placed in teams of two into a Rice University research lab where they will spend four weeks working on a research project under the advisement of the U.S. professor and their assigned U.S. graduate student mentor. The capstone experience of the research internship will be the development of a research project poster that will be presented at a symposium held at Rice University and that can be presented to the student's home university upon their return to Japan.

In addition to research, students will also participate in weekly English language classes, an Introduction to Science & Engineering Research in the U.S. seminar, and cultural activities and excursions. Following the completion of the four-week internship, students will travel to Washington, DC for a one-week Science & Technology Policy Study Tour.

2016 TOMODACHI STEM Program @ Rice University は、理工学専攻の日本人学部生 10 名を対象とした 5 週間の研究インターンシッププログラムです。このプログラムはテキサス州ヒューストンにあるライス大学にて実施され、学生に、最先端理工学研究の実経験、米国高等教育の概要紹介、また文化交流及び米国学生との研究共同作業の機会を提供します。また、このプログラムは、国際共同研究を通じて、理工学研究に興味を持つ日本人学生に、アメリカとの連携のきっかけを提供します。

このプログラムは、2016 年 2 月 21 日（日）から 3 月 27 日（日）に実施され、若手科学者及び技術者に、様々な理工学分野の最先端研究に触れる機会を提供します。

日本人参加学生は、アメリカ側の教授及び大学院生メンターの指導の下で 4 週間の研究プロジェクトを実施するために、ライス大学の研究室に 2 名ずつ配属されます。研究インターンシップの最終課題は、ライス大学で行われるシンポジウムで発表するための、また学生が帰国後に日本の所属大学で発表することができるような、研究プロジェクトポスターの作成です。

研究活動に加え、学生は週 1 度の英語クラス、アメリカにおける理工学研究の概要についてのセミナー、及び文化に関するアクティビティやエクスカージョンに参加します。また、4 週間のインターンシップ終了後、学生はワシントン DC で 1 週間の **Science & Technology Policy Study Tour**（科学技術政策学習ツアー）に参加します。

For more information and to apply online by October 16 see
<http://tomodachistem.blogs.rice.edu/>. For questions, email Sarah
Phillips at tomodachistem@rice.edu.

理工農薬学系学生対象 2016年度 IAESTE 海外インターンシップ生募集

その想いを、海の向こうで。

【受験資格】

研修実施時に年齢が 19 ～ 30 歳で、理工農薬学系の学部 3 年生以上
または大学院に在籍している学生。(現在、学部 2 年生以上) 国籍不問、
留学生・研修生も応募可。

【応募期間】

2015 年 8 月 3 日(月)～ 2015 年 9 月 30 日(水)

【試験日程】

2015 年 10 月 24 日(土)

【試験会場】

北海道大学 東北大学 東京大学 同志社大学 九州大学

【受験料】

10,000 円 (ただし大学会員校の学生以外の場合 20,000 円)

【試験項目】

・ 諸英語試験のスコア

TOEIC・TOEFL iBP・TOEFL ITP・IELTS・英検

(TOEIC 600 点, TOEFL iBT 62 点, TOEFL ITP 503 点, IELTS 5.5, または英検
準 1 級に達していること。)

有効期限のあるものは、期限内のものを有効とします。

・ 面接試験：英語および日本語による口頭試問。

・ 課題英作文や志望理由書など応募書類。

詳しくは当協会 HP にて認定試験募集要項をご覧ください。

【大学会員校】

大阪大学 大阪工業大学 岡山大学 九州大学 京都大学 慶應義塾大学
神戸大学 首都大学東京 東京大学 東京工業大学 東京都市大学
東京農工大学 東京理科大学 東北大学 同志社大学 北海道大学
室蘭工業大学 横浜国立大学 立命館大学 早稲田大学



IAESTE Japan

一般社団法人日本国際学生技術研修協会

HP: <http://www.iaeste.or.jp/>
(右の QR コードからもアクセスできます)
MAIL: tlsc@iaeste.or.jp
Twitter: @IAESTE_INFORM
お気軽にお問い合わせください。



イアエステ



海外インターンシップ

Fraunhofer Institute IPA (ドイツ)
(Manufacturing Engineering and Automation)

インターンシップ説明会



日時 1月25日(月)
16:30~17:15

場所 B11 教室

ドイツ(シュツットガルト)にある応用研究をする
企業:フラウンホーファー・インスティテュート IPA
(<http://www.ipa.fraunhofer.de/en.html>)で
の海外インターンシップに興味のある人はぜひ
出席して下さい。英語の勉強にもなります！

主催・連絡(質問)先: 工学系教育研究センター(CEED)
山下(内線 6907) t.yamashita@eng.hokudai.ac.jp

CEED 2016 海外インターンシップ 「春休み特別プログラム」

2/20~3/27

(期間については相談して下さい)

経費支援(30or40 万円)あい!!

マレーシア、韓国 or タイ

支援額 **30 万円**...20 名

フィンランド or ドイツ

支援額 **40 万円**...10 名



応募条件:

(1)①大学院生(工学、情報、総合化学院(工学系))

②本学工学系大学院入試に合格している工学部 4 年生

③工学部 3 年生

(2)大学院生の場合はインターンシップ第一か第二を、学部生の場合は学科のインターンシップ科目を履修すること

派遣:選考の上決定

締切:2015 年 12 月 7 日 (月)

期間:2016 年 2 月 22 日(月)~3 月 25 日(金)

(札幌発 2 月 20 日、札幌着 3 月 27 日)

(期間については相談してください)

派遣先:IIUM(マレーシア)、ソウル大学(韓国)、日系企業
(タイ)、TAMK(フィンランド)、フレーメン大学(ドイツ)

応募方法

①名前

②所属

③学生番号

④派遣希望先

(第3希望まで選択可能)

⑤持っていれば語学検定テスト(TOEIC など)のスコア
以上を書いて下記にメールで応募ください。

t.yamashita@eng.hokudai.ac.jp

注:今年すでにインターンシップへ行った人も上述の応募条件を満たせば応募できます。
ご相談ください。

くわしくは
こちら→



<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>

学部生も
ぜひ参加し
て下さい！

第1回海外インターンシップ 体験報告会



日時：**7月13日(月)**

16:30～18:00

場所：**B11教室(18時～懇親会L200)**

海外インターンシップで、充実した就業体験や、異文化を理解しよう。インターンシップ後も SCII で異文化との交流・企画・発案のチャンスがあります。

体験報告

上 蓑
鄭
長 倉
鈴木
葛 西
藤 田

マサチューセッツ大学

フラウンホーファーインスティテュート

北京科技大学

ストラスブール大学

ライス大学

ヘルムホルツセンター

(アメリカ)

(ドイツ)

(中国)

(フランス)

(アメリカ)

(ドイツ)

海外インターンシップ。 体験報告会



海外インターンシップで、充実した就業体験や、異文化を理解しよう。

11月24日(火) 10:30~12:00 C209 教室

(株) ニコン・アメリカ(USA)
ブレーメン大学(ドイツ)
シルパコーン大学(タイ)
ハノイ鉱山大学(ベトナム)

11月27日(金) 10:30~12:00 C207 教室

グリフィス大学(オーストラリア)
国立中正大学(台湾)
ハノイ鉱山大学(ベトナム)
オストラバ工科大学(チェコ)

11月24日(火) 14:30~16:00 P354 教室

マレーシア国際イスラーム大学(マレーシア)
ハノイ鉱山大学(ベトナム)
(株) Steinmuller Engineering (チェコ)
ミラノ工科大学(イタリア)

11月27日(金) 16:30~18:00 C207 教室

(株) ミサワホーム・フィンランド(フィンランド)
ハノイ鉱山大学(ベトナム)
ルーベン・カトリック大学 (ベルギー)
ミネソタ大学(USA)

11月25日(水) 13:00~14:30 I204 教室

ゲオルグアグリコーラ工科大学(ドイツ)
マレーシア国際イスラーム大学(マレーシア)
ブレーメン大学(ドイツ)
ワシントン大学(USA)

11月26日(木) 13:00~14:30 P354 教室

ハノイ鉱山大学(ベトナム)
Flanders Hydraulics Research(ベルギー)
オハイオ州立大学(USA)
(株) 十條サーマル(フィンランド)

学部生もぜひ
聴講して
下さい！

海外インターンシップ。 体験報告会



海外インターンシップで、充実した就業体験や、異文化を理解しよう。

1月26日(火) 8:45~10:00 P354 教室

マレーシア国際イスラーム大学(マレーシア)
ペンシルバニア州立大学(USA)
ニューヨーク州立大学(USA)
レスター大学(英国)
ハノイ鉱山大学(ベトナム)

学部生もぜひ
聴講して
下さい！

1月28日(木) 13:00~14:30 P354 教室

大日本コンサルタント・JICA(ザンビア)
ニース大学(フランス)
カーティン大学(オーストラリア)
ジョセフ・フーリエ大学(フランス)
ヘルムホルツセンター(ドイツ)

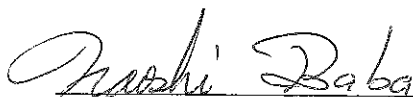
1月29日(金) 10:30~12:00 P354 教室

ザルツブルグ大学(オーストリア)
バークレー大学(USA)
フラウンホーファー・インスティテュート(ドイツ)
パデュー大学(USA)
テキサス A&M 大学(USA)

**Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program
between
Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering,
Graduate School of Information Science and Technology,
and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering,
Hokkaido University
and
Faculty of Engineering, Chulalongkorn University**

Under the Academic Exchange Agreement concluded on July 3, 2009 between Hokkaido University and Chulalongkorn University, Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology, and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University (HU) and Chulalongkorn University (CU) implement the internship exchange program for students as follows.

1. Interns refer to students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between HU and CU each year.
3. Home University will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship will not exceed six months.
5. Host University and interns should discuss internship theme and responsibility before internship begins.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to Home University promptly after internship is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarships.
10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Naoshi BABA

Dean

Faculty and Graduate School of
Engineering, School of Engineering,
Hokkaido University

Date: Sept. 5, 2011




Boonsom LERDHIRUNWONG

Dean

Faculty of Engineering,
Chulalongkorn University

Date: Sept. 5, 2011

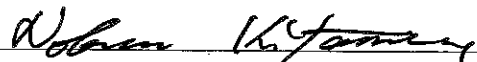


Masahito KURIHARA

Dean

Graduate School of Information Science
and Technology, Hokkaido University

Date: Sept. 5, 2011



Noboru KITAMURA

Dean

Graduate School of Chemical Sciences
and Engineering, Hokkaido University

Date: Sept. 5, 2011

Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program
between

Ecole Nationale Supérieure de Mécanique et D'Aérotechnique
and

Faculty and Graduate School of Engineering, Hokkaido University

Under the Academic Exchange Agreement concluded on January 18, 2011 between Ecole Nationale Supérieure de Mécanique et D'Aérotechnique (ENSMA) and Faculty and Graduate School of Engineering, Hokkaido University (HU), ENSMA and HU implement the internship exchange program for graduate students as follows.

1. Interns refer to graduate students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between ENSMA and HU each year.
3. Home University will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship will not exceed six months.
5. Host University and interns should discuss internship theme and responsibility before internship begins.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to Home University promptly after internship is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarships.
10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Prof. Francis COTTET

Director

Ecole Nationale Supérieure de
Mécanique et D'Aérotechnique



Prof. Naoshi BABA

Dean

Faculty and Graduate School
of Engineering,
Hokkaido University

Date: 18/1/2011

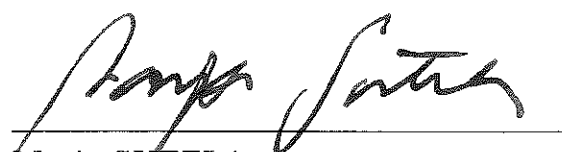
Date: Jan. 18, 2011

**MEMORANDUM OF UNDERSTANDING ON INTERNSHIP
EXCHANGE PROGRAM
BETWEEN
TAMPERE UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES
AND
FACULTY AND GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING AND
GRADUATE SCHOOL OF CHEMICAL SCIENCES AND
ENGINEERING, HOKKAIDO UNIVERSITY**

Under the Academic Exchange Agreement concluded on January 12, 2011 between Tampere University of Applied Sciences (TAMK) and Faculty and Graduate School of Engineering and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University (HU), TAMK and HU implement the internship exchange program for graduate students as follows.

1. Interns refer to graduate students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between TAMK and HU each year.
3. Home university will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship will not exceed six months.
5. Host University and interns should discuss internship theme and responsibility before internship begins.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property rights, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to home university promptly after internship is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarships.
10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.

11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Marja SUTELA

Vice President

Tampere University of Applied Sciences

Date: 12.1.2011



Naoshi BABA

Dean

Faculty and Graduate School of
Engineering, Hokkaido University

Date: 12.1.2011



Noboru KITAMURA

Dean

Graduate School of Chemical
Sciences and Engineering,
Hokkaido University

Date: 12.1.2011

Memorandum of Understanding
Between
George R. Brown School of Engineering,
Rice University, United States
and
Faculty, School and Graduate School of Engineering,
Graduate School of Information Science and Technology, and
Graduate School of Chemical Sciences and Engineering,
Hokkaido University, Japan

George R. Brown School of Engineering, Rice University (hereinafter referred to as “Rice”) and Faculty, School and Graduate School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology, and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University (hereinafter referred to as “HU”) hereby conclude this Memorandum to promote research collaboration and internship exchange between the two universities.

1. Scope and Major Activities

Each university will make an effort to promote and develop cooperation in the following activities, based upon the principles of equality and reciprocity.

- (1) Exchange of faculty members and research fellows.
- (2) Exchange of student interns.
- (3) Conducting joint research projects and organizing symposiums.

2. Internship Exchange

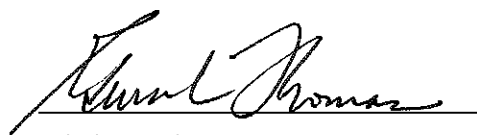
- 2-1 “Interns” refers to undergraduate or graduate students who are selected by both universities to join the internship exchange program.
- 2-2 The actual number of interns will be determined by the host university through prior discussion between Rice and HU each year. The total number of interns in each direction is not to exceed 5 per academic year.

- 2-3 The home university will review all internship applications and the host university will make the final selection of interns. A primary host supervisor will be assigned by the host university to each selected intern.
- 2-4 The internship period will not exceed six months.
- 2-5 Before the start of an internship, the primary host supervisor and the intern will discuss and agree upon the internship areas, topics and responsibilities.
- 2-6 The primary host supervisor will make an agreement on confidentiality, intellectual property rights, and work achievement with interns, consistent with the policies of the host university.
- 2-7 Promptly after an internship has ended, the primary host supervisor will send a performance report to the home university.
- 2-8 Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
- 2-9 The interns or their sponsors at the home university must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude the interns from applying for any scholarships.
- 2-10 The host university will help interns find housing that is convenient for the interns.
- 2-11 Interns will be required to purchase health insurance that meets the host university's regulations. The insurance premium and all out-of-pocket costs that the insurance does not cover will be the personal responsibility of the interns.
- 2-12 In case of an emergency during an intern's stay at the host university, both universities will co-operate to facilitate the safety of interns.
- 2-13 In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.

3. General Terms

- 3-1 This Memorandum shall come into effect on the date of the signatures to the agreement and shall be valid for a period of three years. It will thereafter be automatically renewed every three years subsequently unless either university notifies its intention of termination at least 3 months prior to the expiration date.

- 3-2 This Memorandum is made in duplicate in Japanese and English, both texts being equally authentic.
- 3-3 Neither university assumes any financial responsibilities with this Memorandum.



Edwin L. Thomas NAE

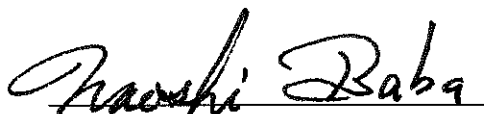
William and Stephanie Sick

Dean of Engineering

Professor of Mechanical Engineering and
Materials Science

Professor of Chemical and Biomolecular
Engineering

George R. Brown School of Engineering
Rice University




Naoshi BABA

Dean

Faculty, School and Graduate School of Engineering
Hokkaido University

Date : Oct. 19, 2011

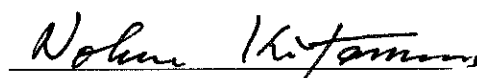


Masahito KURIHARA

Dean

Graduate School of Information Science
and Technology
Hokkaido University

Date : Oct. 19, 2011



Noboru KITAMURA

Dean

Graduate School of Chemical Sciences
and Engineering
Hokkaido University

Date : Oct. 19, 2011



Research Internship Exchange Agreement

between the

**Graduate School of Engineering,
Graduate School of Information Science and Technology
and
Graduate School of Chemical Sciences and Engineering
at**

**Hokkaido University, Japan
and the
Science and Engineering Faculty
at**

Queensland University of Technology, Australia

The Graduate School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University, Japan (hereafter referred to as HU) of Sapporo, Japan, and the Science and Engineering Faculty at Queensland University of Technology (hereafter referred to as QUT), Brisbane, Queensland, Australia have strongly complementary research interests and expertise.

HU and QUT do hereby agree upon the following provisions concerning the Research Internship Exchange Program.

Article 1: Objective

The purpose of the internship exchange program is to promote collaborative research exchanges and to promote a greater understanding of the multiple perspectives brought to international issues and to increase the competencies of students who will live and work in an increasingly interdependent world.

Article 2: internship Exchange framework

- i. Each institution will accept up to two full-time students per year to undertake supervised research for a period not exceeding three months (unless in exceptional cases where sufficient justification can be shown and agreed upon by both parties in advance). Any change in the number of students to be sent on exchange will be mutually agreed and a review of the number will be conducted periodically.
- ii. Each exchange student shall be subject to the same academic and non-academic rules, regulations and requirements applicable to all students registered at the host institution.

- iii. Each exchange student shall be selected according to the relevant procedure and at the discretion of the home institution and the host institution shall honour the selection so made.
- iv. The home institution will advise the host institution of a student's intention to undertake research exchange under the terms of this agreement with a minimum of six (6) months' notice in order to provide the host with a reasonable timeframe in which to optimise the allocation of space and resources in support of the proposed research activity.
- v. Students of HU will apply as non-award exchange students and will be responsible for obtaining the correct visa as required by the relevant national authority for students undertaking non-award studies/internships. Students of QUT will apply through the standard exchange process at QUT and for the purposes of HU, they will be regarded as intern students.
- vi. The exchange and sharing of technical and scientific data and research material and the purchase and shipment of the scientific supplies and equipment for the research projects undertaken by research students being exchanged under this agreement will be agreed upon between the parties. All relevant guidelines and applicable State, Federal and International regulations will be complied with.
- vii. Each exchange student will return to the home institution after the exchange period unless both institutions approve an extended stay.
- viii. When one of the parties to the Agreement is unable to select an appropriate candidate for the exchange program for a given academic semester, the other institution may send the usual number of students. The institution that is not able to send a student holds the right to send an additional exchange student in subsequent semesters so that a balance is reached over a five-year period.
- ix. The host institution will assist exchange students in locating suitable residential accommodation.

Article 3: Financial matters and obligations

- i. Neither institution will charge tuition or administration fees from the exchange student of the other institution.
- ii. Each exchange student will pay his/her own room and board for the semester at the host institution.
- iii. Each exchange student must ensure that they have overseas health insurance coverage at their own expense for the period of study at the host institution.
- iv. All other expenses required or incurred for the purpose of taking part in the exchange program will be the responsibility of each student concerned, with the home institution free to provide any assistance it may desire. Such expenses include but are not limited to international and in-country transportation, books and other incidental and personal expenditures.
- v. To assist in offsetting the cost of living expense for students undertaking this program, HU will provide funding support to a maximum of two QUT students valued at JPY 100,000 per month for each student for the duration of the approved exchange period. The School of Chemistry, Physics and Mechanical Engineering (CPME) at QUT will support up to a maximum of two HU students undertaking a research exchange in CPME for the approved exchange period, valued at AUD 1000 per month.
- vi. If a student of HU seeks to undertake a research exchange in another School within the Science and Engineering Faculty (SEF) at QUT, HU will advise QUT at the earliest practicable time. Within SEF, the decision concerning the level of funding support which may be available to help offset living costs for HU

research exchange students under this agreement remains at the discretion of the relevant Head of School.

Article 4: Intellectual Property

- i. In recognition of the shared commitment of HU and QUT to supporting the students' research endeavours, the protection of the resulting thesis content and the publication, exploitation and protection of the results of the specific research covered by this agreement will be subject to the Intellectual Property regulations of both Institutions.
- ii. Intellectual property residing wholly within the respective institutions will remain the exclusive property of the institution.
- iii. Intellectual property that arises directly from the period undertaken on exchange will be articulated and governed under a separate and specific agreement.

Article 5: Sundry

- i. Both institutions will nominate an academic staff member to oversee the implementation of this Agreement, and those nominated will be listed in the Appendix to this Agreement.
- ii. Violation of local law committed by the student in the host country may result in immediate withdrawal of the immigration and academic sponsorship and expulsion from the host country.
- iii. This Agreement shall be valid for five (5) years from the date of signing. It shall be reviewed six (6) months prior to expiry and may be renewed for a further term by mutual agreement.
- iv. The parties agree to resolve disputes, including those arising from the interpretation of the present agreement in a co-operative manner, and in accordance with rules and regulations of both institutions. Student grievances will be resolved jointly and in line with the regulations of both institutions.
- v. In the event that a dispute cannot be resolved, the issue(s) will be submitted for arbitration; each party will appoint a member of the arbitration panel and an additional member will be chosen by mutual consent. At QUT, the student ombudsman may be involved in such a panel.
- vi. This Agreement may be terminated by either institution at any time provided that the terminating institution gives a minimum of six (6) months notice in writing. In the event of termination of this Agreement, students who are already participating and/or have been approved to participate in the exchange program will be allowed to proceed with their internship under the conditions outlined in this Agreement until the end of their exchange.

As witness to their consent to this Agreement the appropriate authorities hereunto provide their signatures.

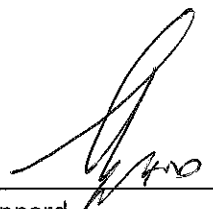
Signed for and on behalf of
Graduate School of Engineering,
Hokkaido University, Japan



Professor Naoshi BABA
Dean

Date: Jul. 11, 2012

Signed for and on behalf of
Queensland University of Technology, Australia



Scott Sheppard
Deputy Vice-Chancellor
(International & Development)

Date: August 6, 2012

Graduate School of Information Science
and Technology,
Hokkaido University, Japan



Professor Masahito KURIHARA
Dean

Date: July 13, 2012

Graduate School of Chemical Sciences
and Engineering,
Hokkaido University, Japan



Professor Toyoji KAKUCHI
Dean

Date: July 12, 2012


Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program between College of Engineering, Seoul National University and Graduate School and School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University

Under the Academic Exchange Agreement concluded on January 24, 2008 between Seoul National University and Hokkaido University, College of Engineering, Seoul National University (hereinafter referred to as "Seoul") and an Graduate School and School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University (hereinafter referred to as "Hokkaido") implement the internship exchange program for graduate students as follows.

1. Interns refer to undergraduate and graduate students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host university through prior discussion between Seoul and Hokkaido each year.
3. Home university will review internship application and Host university will make final selection.
4. The period of internship will not exceed six months.
5. Host university and interns should discuss internship theme and responsibility before internship begins.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property rights, and work achievement with interns.
7. Host university should send evaluation report to home university promptly after internship is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarships.
10. Host university should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Tae Jin KANG
Dean
College of Engineering
Seoul National University



Naoshi BABA
Dean
Graduate School and School of
Engineering
Hokkaido University



Masahito KURIHARA
Dean
Graduate School of Information
Science and Technology
Hokkaido University

Date: Jan. 17, 2011

Date: Jan. 17, 2011

北海道大学大学院工学研究科及び大学院情報科学研究科とソウル国立大学校工科大学の国際インターンシップ相互派遣プログラムに関する実施要項 The Procedure of Internship Exchange Program between College of Engineering, Seoul National University and Graduate School of Engineering and Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University

1. 序論 Preface

北海道大学大学院工学研究科及び大学院情報科学研究科（以下北海道大学とする）とソウル国立大学校工科大学（以下ソウル大学とする）は、両大学の大学院学生に対して、国際インターンシップ相互派遣プログラムを提供する。

College of Engineering , Seoul National University (Seoul) and Graduate School of Engineering and Graduate School of Information Science Technology , Hokkaido University (Hokkaido) offer graduate students at both universities internship exchange program to give them opportunities to work overseas and learn different culture.

このプログラムは、学生に受入大学で研究研修を行うだけでなく、可能であれば、関連する受入国の研究機関や企業で就労体験をすることができる。これは学生に異文化体験と国際的な就労体験の機会を提供するものである。

Although the program mainly provides students with research training at host university, it might be possible to do them with internship at research institutions or companies.

以下、「派遣大学」とは、学生が正規学生として入学し卒業する予定である大学を指し、「受入大学」とは、派遣大学から学生を受け入れることに同意した大学を指すこととする。

“Home university” refers to the university that a student enrolled at and will graduate from. “Host University” refers to the university, which agreed to accept a student from home university.

2. 国際インターンシップ交換プログラム概要 Internship Exchange Program

2-1 応募資格 Eligibility

両大学に正規学生として入学し修了する予定である大学院学生であればこのプログラムに申請することができる。

Current full-time students from Hokkaido or Seoul are eligible to apply.

2-2 研修期間 Internship Period

このプログラムは、年度を通して行われ、その受入期間は、派遣大学の指導教員と受入大学の指導教員との交渉により決められる。

Students can apply for the internship exchange program all through the year.

Internship period depends on the arrangement between supervisors at both universities.

2-3 受入教員の情報 Information on Supervisors

派遣大学は、受入大学を通じてウェブサイト等により申請者に関連する受入指導教員や研究内容などのリストを当該学生に提供する。

Home university should give students detailed information on supervisors as well as their researches through host university.

2-4 申請書類 Application

以下の書類は、受入大学のルールに従い、派遣大学のインターンシップ担当者（北海道大学は CEED、ソウル大学は国際企画課）を通して、受入大学のインターンシップ担当者に送付される。Students should submit the following documents to contact point at home university (CEED for Hokkaido, and Office of International Affairs, for Seoul) under the rule of host university.

- (1) インターンシップ申請理由書（共通様式：様式 1） Student application form (Form1)
- (2) 履歴書（所定様式：様式 2） Resume (Form2)
- (3) インターンシップ研修生受入願（共通様式：様式 3） Supervisor application form (Form3)
- (4) 覚書の写し（共通様式：様式 4） a copy of Trainee Covenant (Form4)
- (5) 写真 2 枚 two photos
- (6) 在学証明書 student registration certificate
- (7) 旅券の写し a copy of passport

2-5 受入教員の選考 Selection of Host Supervisor

受入教員の選定は、受入大学で行う。

Host university should select a supervisor for each student.

2-6 選定結果の通知および査証手続書類の送付 Selection Result and Necessary Documents Regarding Visa

派遣大学のインターンシップ担当は選定結果を申請者へ通知する。

また、受入大学は、申請者の査証手続に必要な書類を作成し送付する。

After the selection process, contact person at home university should inform students of the selection result. Host university should send necessary documents for visa procedures to the selected students.

2-7 経済支援 Financial Support

両大学は全ての学生に対し経済的支援を行う義務を負わない。但し、派遣大学は、当該学生へ旅費を支援し、受入大学は当該学生へ滞在費を支援することができる。また、受入大学で受入後に当該国の研究機関又は企業へ当該学生を派遣する場合、受入大学は当該国内の滞在費及び旅費の一部を支援することができる。

Both universities are not obliged to provide all financial support. However, they may support part of travel cost to outbound students and living cost to inbound students. If students wish to do another internship at research institutions, or companies during their internship at host university, host university may pay them portion of travel cost or living cost for the internship.

2-8 滞在先の手配 Housing

受入大学は、当該学生が大学内又はその近郊に適当な住居を確保できるように努めるものとする。

Host university should help students find on-campus housing, or housing near campus.

2-9 保険の加入 Insurance

参加学生は、受入れ大学が求める保険に加入しなければならない。いかなる保険の費用及びこれらの保険の対象とならない費用については、学生が自己の責任において負担する。

Students are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Students should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.

2-10 派遣前教育 Pre-departure class

参加学生は、派遣大学で派遣前教育を受講しなければならない。

Students must take pre-departure class at their home university before departure.

2-11 受入大学での研修及び就労体験における研修評価 Report and Evaluation

当該学生はインターンシップ修了後、受入大学へレポートを提出する。受入大学は派遣大学へ評価書（共通様式：様式5）を発行する。

Students must submit a report to host university after internship is over. Host university is to give an evaluation document (Form5) to home university.

Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program

between

Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering,
Graduate School of Information Science and Technology,
and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering,
Hokkaido University

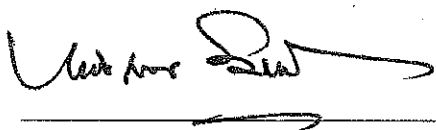
and

Kulliyah of Engineering, International Islamic University Malaysia

Under The Academic Exchange Agreement concluded on October 28, 2013 between Hokkaido University, Faculty of Graduate School of Engineering, School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology, and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University (HU) and the Kulliyah of Engineering, International Islamic University Malaysia (IIUM), both are desirous to implement the internship exchange program for students which the details are as follows;

1. Interns refer to students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between HU and IIUM each year.
3. Home Universities will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship exchange program will not exceed twelve months.
5. Host University and interns should discuss the internship theme and responsibility before the commencement of the internship exchange program.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to Home University promptly after internship exchange program is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude Intern from applying for any scholarship.
10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.

11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



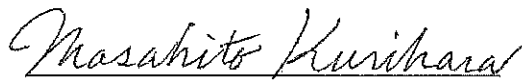
Professor Emeritus Dato' Wira Dr. Md. Noor
bin Salleh
Dean
Kulliyah of Engineering
International Islamic University Malaysia

Date: 28.10.2013



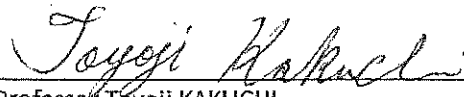
Professor Naoshi BABA
Dean
Faculty, Graduate of School and School of
Engineering Hokkaido University

Date: Oct. 4, 2013



Professor Masahito KURIHARA
Dean
Graduate School of Information Science and
Technology,
Hokkaido University, Japan

Date: Oct. 8, 2013



Professor Toyoji KAKUCHI
Dean
Graduate School of Chemical Sciences and
Engineering, Hokkaido University, Japan

Date: Oct. 8, 2013

Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program

Between

Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering,
Graduate School of Information Science and Technology,
and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering,
Hokkaido University

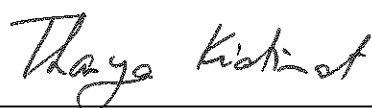
And

Faculty of Engineering, Kasetsart University

Under the Academic Exchange Agreement concluded on January 6, 2009 between Hokkaido University (HU) and Kasetsart University (KU), Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology, and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering (HU) and Faculty of Engineering (KU) are desirous to implement the internship exchange program for students which the details are as follows;

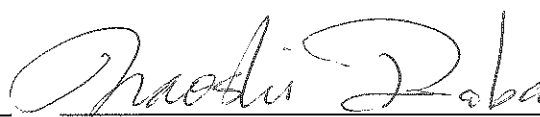
1. Interns refer to students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by host university through prior discussion between HU and KU each year.
3. Home University will review internship application and host university will make final selection.
4. The period of internship exchange program will not exceed six months.
5. Host university and interns should discuss the internship theme and responsibility before the commencement of the internship exchange program.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host university should send evaluation report to home university promptly after internship exchange program is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarship.
10. Host university should help interns find on-campus housing, or housing near campus.

11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
12. During the period of intern's stay at host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Professor Thanya KIATIWAT
Dean
Faculty of Engineering
Kasetsart University

Date: Feb. 21, 2014



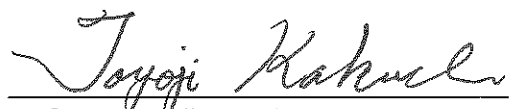
Professor Naoshi BABA
Dean
Faculty, Graduate School and School of
Engineering, Hokkaido University

Date: Feb. 21, 2014



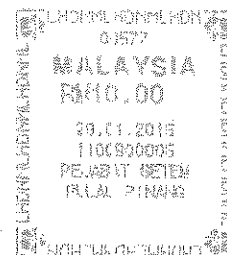
Professor Masahito KURIHARA
Dean
Graduate School of Information Science and
Technology,
Hokkaido University

Date: Feb. 13, 2014



Professor Toyoji KAKUCHI
Dean
Graduate School of Chemical Sciences and
Engineering, Hokkaido University

Date: Feb. 13, 2014



Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program
between
Universiti Sains Malaysia (School of Materials and Mineral Resources Engineering)
and
Hokkaido University (Faculty, Graduate School and School of Engineering)

This Memorandum of Understanding is made this day of *30 Dec*, 2014 ("MoU") between:

UNIVERSITI SAINS MALAYSIA, a public university in Malaysia established under the Universities and University Colleges Act 1971 and for the purpose of this MoU is represented by its School of Materials and Mineral Resources Engineering ("USM") of the first part; and

HOKKAIDO UNIVERSITY, a university in Japan, having an address at Kita 13 Nishi 8, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido 060-8628 Japan and for the purpose of this MoU is represented by its Faculty, Graduate School and School of Engineering ("HU") of the second part.

USM and HU intend to implement the internship exchange program for undergraduate and graduate students as follows.

1. "Interns" refers to students, who are selected from both universities to join the internship exchange program ("the Program").
2. "Home University" shall mean the institution at which the Interns intend to graduate or from which the exchange is made, and "Host University" shall mean the institution which has agreed to accept the Interns from the Home University under the Program.
3. This MoU shall form the basis of consensus for the USM and HU to examine the feasibility of the collaboration until such time when any other manner of agreement is entered into by the parties upon terms and conditions to be mutually agreed upon including on provisions on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with Interns.
4. The actual number of Interns will be determined by the Host University through prior discussion with the Home University each year.
5. The Home University will review internship application and the Host University will make the final selection in accordance with the Host University's criteria.
6. The period of internship will not exceed six (6) months.
7. The Host University and the Interns should discuss internship theme and responsibility before internship begins.
8. The Host University should send evaluation report to the Home University promptly after internship is over.
9. Each university may appoint a coordinator for the Program.

10. Interns or their sponsors/Home University must take responsibility for all expenses incurred by the Interns. This does not preclude the Interns from applying for any scholarships.
11. The Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
12. Interns are required to purchase internship insurance that meets Host University's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
13. During the period of the Intern's stay at the Host University, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of the Interns in a state of emergency.
14. In the event of termination of this MoU, both universities shall provide all support services stated above for Interns at the end of their internship.
15. This MoU shall be effective for a period of three (3) years from the date of this MoU notwithstanding the diverse dates the parties may have signed this MoU.
16. Notwithstanding the statements and obligations herein, this MoU shall not create a legal relationship between the parties and the parties shall not be legally bound until and unless a definitive agreement has been negotiated and duly executed by the authorized representatives of USM and HU.
17. Any notice between the parties shall be delivered to the address hereinbefore stated.
18. The parties agree that all disputes arising pursuant to this MoU shall be resolved by way of negotiations and discussion and with a view to an amicable settlement and mutual benefit of both parties.
19. Neither party shall use, nor permit any person or entity to use the name, official emblem or logo (or any variation thereof) of the other party on any publication, document, paper, audio or visual presentation, without first obtaining the written consent of the other party.

(the remainder of this page is intentionally left blank)

In witness whereof, USM and HU have agreed to sign this MoU on the date and year first above written.

Signed for and on behalf of
UNIVERSITI SAINS MALAYSIA



PROF. DATO' DR. OMAR OSMAN
Vice-Chancellor

Date: 19/1/2015

Signed for and on behalf of
HOKKAIDO UNIVERSITY



PROF. TOYOHARU NAWA
Dean

Faculty, Graduate School and School of
Engineering,
Hokkaido University

Date: 4 December 2014

Witnessed by:



PROFESSOR DR HANAFI ISMAIL
Dean
School of Materials and Mineral Resources
Engineering

Date: 30/12/2014

Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program

between

Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering,
Graduate School of Information Science and Technology,
and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering,
Hokkaido University

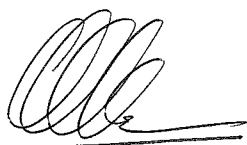
and

Faculty of Geology and Petroleum Engineering,
Faculty of Civil Engineering
Ho Chi Minh City University of Technology

Under The Academic Exchange Agreement concluded on *28 April* , 2015 between Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology, and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University (HU) and Faculty of Geology and Petroleum Engineering and Faculty of Civil Engineering, Ho Chi Minh City University of Technology (HCMUT), both are desirous to implement the internship exchange program for students which the details are as follows;

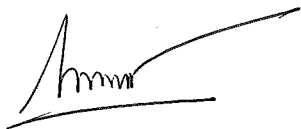
1. Interns refer to students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between HU and HCMUT each year.
3. Home Universities will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship exchange program will not exceed twelve months.
5. Host University and interns should discuss the internship theme and responsibility before the commencement of the internship exchange program.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to Home University promptly after internship exchange program is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarship.

10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.
12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Associate Professor Nguyen Viet Ky
Dean
Faculty of Geology and Petroleum Engineering
Ho Chi Minh City University of Technology

Date: 28 April, 2015



Dr. Nguyen Minh Tam
Dean
Faculty of Civil Engineering
Ho Chi Minh City University of Technology

Date: 28 April, 2015



Professor Toyoharu Nawa
Dean
Faculty, Graduate of School and School of
Engineering Hokkaido University

Date: 16 Mar. 2015



Professor Yoshikazu MIYANAGA
Dean
Graduate School of Information Science and
Technology,
Hokkaido University, Japan

Date: 28 April, 2015



Professor Kazuyasu SAKAGUCHI
Dean
Graduate School of Chemical Sciences and
Engineering, Hokkaido University, Japan

Date: 20 April, 2015

Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program

Between

Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering,
Hokkaido University

And

Technische Fachhochschule Georg Agricola zu Bochum

Under The Academic Exchange Agreement concluded on April 30 , 2015 between Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering (HU) and Technische Fachhochschule Georg Agricola zu Bochum (TFH), Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering (HU) and Technische Fachhochschule Georg Agricola zu Bochum (TFH) are desirous to implement the internship exchange program for students which the details are as follows;

1. Interns refer to students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between HU and TFH each year.
3. Home Universities will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship exchange program will not exceed six months.
5. Host University and interns should discuss the internship theme and responsibility before the commencement of the internship exchange program.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to Home University promptly after internship exchange program is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarship.
10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.

12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Jürgen Kretschmann

Professor Jürgen Kretschmann

President

Technische Fachhochschule Georg Agricola zu
Bochum

Date: 30.04.2015

Toyoharu Nawa

Professor Toyoharu NAWA

Dean

Faculty, Graduate of School and School of
Engineering Hokkaido University

Date: 30 April 2015

Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program

Between

Faculty, Graduate School and School of Engineering,
Hokkaido University

And

Faculty of Civil Engineering, Czech Technical University in Prague

Under The Academic Exchange Agreement concluded on 21 Dec 2015 between Hokkaido University (HU) and Czech Technical University in Prague (CTU), Faculty, Graduate School, and School of Engineering (HU) and Faculty of Civil Engineering (CTU) are desirous to implement the internship exchange program for students which the details are as follows;

1. Interns refer to students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between HU and CTU each year.
3. Home Universities will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship exchange program will not exceed six months.
5. Host University and interns should discuss the internship theme and responsibility before the commencement of the internship exchange program.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to Home University promptly after internship exchange program is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarship.
10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.

12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.
13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Professor Alena Kohoutkova
Dean
Faculty of Civil Engineering
Czech Technical University in Prague

Date: 21 Dec 2015



Professor Toyoharu NAWA
Dean
Faculty, Graduate School and School of Engineering
Hokkaido University

Date: 21 Oct. 2015

Memorandum of Understanding on Internship Exchange Program

Between

Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering,
Hokkaido University

And

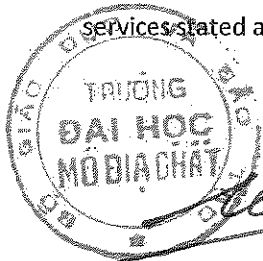
Hanoi University of Mining and Geology

Under The Academic Exchange Agreement concluded on _____, 2015 between Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering (HU) and Hanoi University of Mining and Geology (HUMG), Faculty and Graduate School of Engineering, School of Engineering (HU) and Hanoi University of Mining and Geology (HUMG) are desirous to implement the internship exchange program for students which the details are as follows;

1. Interns refer to students, who are selected by both universities to join the internship exchange program.
2. The actual number of interns will be determined by Host University through prior discussion between HU and HUMG each year.
3. Home Universities will review internship application and Host University will make final selection.
4. The period of internship exchange program will not exceed six months.
5. Host University and interns should discuss the internship theme and responsibility before the commencement of the internship exchange program.
6. Host supervisor should make an agreement on confidentiality, intellectual property right, and work achievement with interns.
7. Host University should send evaluation report to Home University promptly after internship exchange program is over.
8. Each university may appoint a coordinator of the internship exchange program.
9. Interns or their sponsors must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude intern from applying for any scholarship.
10. Host University should help interns find on-campus housing, or housing near campus.
11. Interns are required to purchase internship insurance that meets host university's needs. Interns should pay the insurance premium and all the costs that the insurance does not cover.

12. During the period of intern's stay at the host university, both universities have to work in cooperation with each other to ensure the safety of interns in a state of emergency.

13. In the event of termination of this Memorandum, both universities shall provide all support services stated above for interns until the end of their internship.



Associate Professor An Hai Le
Rector

Hanoi University of Mining and Geology

Date: 19 Mar. 2015

Toyoharu Nawa

Professor Toyoharu NAWA
Dean

Faculty, Graduate of School and School of
Engineering Hokkaido University

Date: 16 Mar. 2015

AGREEMENT for
STUDENT RESEARCH INTERNSHIP EXCHANGE BETWEEN
THE UNIVERSITY OF TULSA, UNITED STATES AND
FACULTY, GRADUATE SCHOOL AND SCHOOL OF ENGINEERING,
GRADUATE SCHOOL OF INFORMATION SCIENCE AND TECHNOLOGY AND
GRADUATE SCHOOL OF CHEMICAL SCIENCES AND ENGINEERING,
HOKKAIDO UNIVERSITY, JAPAN

The University of Tulsa ("TU"), located in Tulsa, Oklahoma, U.S.A., and Faculty, Graduate School and School of Engineering, Graduate School of Information Science and Technology and Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University ("HU"), located in Sapporo, Hokkaido, Japan, desire to enter into a reciprocal student research internship exchange program between the two institutions. This Agreement for Student Research Internship Exchange, hereinafter referred to as the "Agreement," is entered into this the 12 day of ~~August~~, 2015 (the "Effective Date").

August

1. PURPOSE

The purpose of this Agreement is to implement a reciprocal student research internship exchange program between TU and HU. The reciprocal student exchange program provides an opportunity for students to complete research internship for up to six months. The program is intended to provide a unique learning experience, enhance academic and research opportunities, and promote greater cultural understanding between students and faculty at the two institutions.

2. INTERNSHIP EXCHANGE

For purposes of this agreement, the term "interns" refers to undergraduate or graduate students who are selected by both universities to join the research internship exchange. Students will be selected to complete research projects in conjunction with faculty at the reciprocal institution.

- a. The actual number of interns will be determined through prior discussion between TU and HU each year. The total number of interns in each direction is not to exceed three (3) per academic year.
- b. The Home Institution will review all internship applications and the Host Institution will make the final selection of interns. A primary host supervisor will be assigned by the Host Institution to each selected intern.

- c. The internship period will not exceed six months.
- d. Before the start of an internship, the primary host supervisor and the intern will discuss and agree upon the internship areas, topics, and responsibilities.
- e. The primary host supervisor will make an agreement on confidentiality, intellectual property rights, and work achievement with interns, consistent with the policies of the Host Institution.
- f. Promptly after the internship has ended, the primary host supervisor will send a performance report to the Host Institution.
- g. The interns or their sponsors at the Home Institution must take responsibility for all expenses incurred by the interns. This does not preclude the interns from applying for any scholarships.
- h. The Host Institution will help interns find housing that is convenient.
- i. The obligations of the two institutions under this Agreement are limited to exchange students only and do not extend to their spouses or dependents.

3. SELECTION OF INTERNS AND APPLICABLE GUIDELINES

The Home Institution will select applicants from its university for the exchange program. Each institution will provide the other institution at least 90 days in advance a list of the exchange students who will be participating in the program, and the relevant documents for those students, as agreed upon by the institutions. The Host Institution reserves the right to make final judgments on the admissibility of each student nominated for the exchange. Admissions decisions will be based primarily on recommendations from the Home Institution.

The following guidelines apply to all exchange students:

- a) Language Requirement: The interns must meet any language requirement set forth by the Host Institution.
- b) Good Standing at the Home Institution: All interns must be in good academic and disciplinary standing at their Home Institution.
- c) Academic Credit, Degree Requirements, and Limitations: Students selected for the internship exchange will be expected to be approved to receive credit for the internship experience from their Home Institution. It is the individual intern's

responsibility to obtain prior approval from their Home Institution for the transfer of credit to the Home Institution. It is each individual exchange student's responsibility to satisfy all of the requirements and procedures of the Home Institution related to credit transfer, application for financial aid, and orientation and/or preparatory training. Interns are not eligible to receive a degree from the Host Institution.

- d) **Interns Must Abide by Rules of the Host Institution and the Home Institution:** The interns must abide by the Host Institution's applicable policies, including, but not limited to, the TU Code of Student Conduct. Any breach of these rules will be dealt with in accordance with the established policies and procedures of the Host Institution in consultation with the Home Institution.
- e) **Reporting of Transcripts:** Interns must grant permission to their Host Institution to send a transcript of course work to their Home Institution at the end of each semester.
- f) **Withdrawal from the Program:** Interns may withdraw from the internship program at any time, until 15 days prior to the commencement of the semester or equivalent academic period. Any student who withdraws from the exchange program will not be entitled to a refund of any room and/or board costs, or other fees paid to the Host or Home Institution.

4. TUITION, VISA, FINANCES, AND OTHER SERVICES AND EXPENSES

All interns shall remain registered and pay tuition and tuition-related fees directly to the Home Institution. They will not be required to pay these fees to the Host Institution. Scholarships and other forms of financial aid (except work study) remain in force.

- a) **Exchange of Visa and Entry Information:** TU and HU will exchange information regarding visa eligibility and application procedures for entry into their respective countries. All exchange students will be wholly responsible for passport, visa, and other fees related to admission to the country where the Host Institution is located.
- b) **Health Insurance and Student Health Services:** All interns must meet or satisfy the insurance requirements of their Host Institution in addition to any insurance requirements of their Home Institution. All interns shall be solely responsible for acquiring and maintaining any applicable health insurance (including, but not limited to, medical, accident, and repatriation insurance). Additionally, interns shall be solely responsible for paying any student health service fees of the Host Institution.

- c) **Room and Board Expenses:** All exchange students who choose housing operated by the Host Institution will pay applicable room and board fees directly to the Host Institution. Each institution will assist its guest students in making advance accommodation arrangements on or near campus; however, participants will be responsible for contractual and fiscal commitments directly to the appropriate housing authority. HU students are required to live in TU campus housing. Assistance for accommodation arrangements does not extend to dependents and/or spouses.
- d) **Miscellaneous Expenses:** In addition to the expenses described in Sections 4(a) - 4(c) above, all interns will be responsible for fees related to the following: transportation to and from the Host Institution, including transport to and from an airport or terminal; textbooks and other related educational supplies; specialized administrative/service fees (not associated with tuition), including, but not limited to, laboratory fees, equipment rental fees, visa/immigration registration fees, and institutional and/or administrative fees; clothing and personal expenses; sustenance expenses; and, all other debts incurred during the course of the exchange.

5. RELATIONSHIP OF THE PARTIES

In performance of the services contemplated in this Agreement, neither TU nor HU shall be considered an agent, employee, joint venture, or partner of the other.

6. ADMINISTRATION OF THE PROGRAM

Administration and correspondence for the reciprocal student exchange shall be conducted through:

TU

Laura Semenow
Assistant Director
Center for Global Education
The University of Tulsa
800 S. Tucker Drive
Tulsa, OK 74104
USA

Tel: 1-918-631-3225

Fax: 1-918-631-2158

Email: laura-semenow@utulsa.edu

HU

Toru Yamashita
Professor
Center for Engineering
Education Development
Hokkaido University
Kita 13 Nishi 8 Kita-ku,
Sapporo
060-8628 Japan
Tel: +81-11-706-6907
Fax: +81-11-706-6929
Email:
t.yamashita@eng.hokudai.ac.jp

7. RENEWAL, TERMINATION, AND AMENDMENTS

This Agreement shall commence on the Effective Date and shall be in effect for five (5) years. This Agreement may be renewed or amended by written mutual agreement only. Either party may terminate this Agreement by giving 60 days written notice to the other party. Exchange students already admitted to and participating in the exchange program at the time of the termination of the Agreement must be allowed to complete the program under the original Agreement.

8. COMPLIANCE WITH LAW

TU and HU shall comply with all laws, rules, regulations, and statutes applicable to either of them, as the case may be.

9. NON-EXCLUSIVITY

Nothing in this Agreement shall create an exclusive relationship between TU and HU. The parties hereto shall be free to enter into relationships with any other university or institution of their choosing without any accountability to the other party hereto.

10. ENTIRE AGREEMENT

This Agreement constitutes the entire agreement of the parties with respect to the subject matter herein and supersedes all prior and contemporaneous agreements and understandings, oral or otherwise. No addition, modification, or amendment hereto shall be effective unless in writing and executed by the parties hereto.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned parties have executed this Agreement first written above as of the Effective Date.

Toyoharu Nawa
Toyoharu NAWA
Dean
Faculty, Graduate School and School
of Engineering,
Hokkaido University
Date: 11 May 2015

Roger N. Blais
Roger Blais
Provost and Vice President for
Academic Affairs
The University of Tulsa
Date: 12 August 2015



Yoshikazu MIYANAGA

Dean

Graduate School of Information
Science and Technology,
Hokkaido University

Date: *May 12, 2015*



Kazuyasu SAKAGUCHI

Dean

Graduate School of Chemical Sciences
and Engineering,
Hokkaido University

Date: *May 11, 2015*

《eラーニングシステム開発部》

- 4-1 平成 27 年度FDプログラム eラーニング活用環境の現状把握セミナー資料
 - 4-1-1 コンテンツ制作について知りましょう
 - 4-1-2 eラーニングシステム開発部パンフレット

コンテンツ制作について 知りましょう

平成27年度FDプログラム eラーニング活用環境の現状把握セミナー

事前に視聴をお願いした動画，見ていただけたか？

- 『CEED コンテンツ制作の流れPV』を見て，今後担当する講義を収録前提で開講するとしたら，どのような準備をするかイメージしてみてください
 - イメージ例
 - {台本を作っておいたほうがいいだろうか？}
 - {黒板で講義するけど，文字大きく書くべきかな}
 - {学生の反応を見て，間を取って話すんだけど大丈夫かなあ}
 - {ヘッドセットは邪魔にならないかなあ} etc...

本日の話題（前半）

- ~~CEED eラーニングの制作概要~~
- ~~CEED 教員間の制作契約手続き~~
- ~~収録から編集、完成まで~~
- ~~動画コンテンツの字幕付与と多言語化~~
- 今までに制作したコンテンツを見る
- なぜコンテンツを制作するのか？
- なぜCEEDでは動画などのコンテンツ制作を推進するのか？
- どのようなコンテンツ制作をするのか？
- 前半まとめ
- 制作方法その1
- 模擬講義その1
- 『対面講義をそのまま収録すること』の考察

今までに制作したコンテンツを見る

教員の講義スタイルに合わせて収録方法を変化させている
話題ごとに目次で区切ってジャンプ可能に

- 【黒板】 熱力学I まとめ3 近久武美教授
- 【PinP グループワーク】 Project Management Basis 第03回 上甲哲也客員講師
- 【字幕付き】 知能ソフトウェア特論 第04回 栗原正仁教授
- 【ThinkBoard板書】 PARE基礎論III 第01回講義 藤田修教授
- 【電子白板】 半導体量子情報特論 第03回講義 武藤俊一教授
- 【iPad】 地下水保全工学特論 第05回講義 五十嵐敏一教授
- 【プロモーション】 [Sanitation Education Program](#) 船水尚行教授

なぜコンテンツを制作するのか？

- CEEDの取り組み観点
 - 社会人大学院生の遠隔地における単位取得支援や基礎学習のため
 - 留学やインターンシップを促進するため
- 教員の職務観点
 - 限られた時間で、よりわかりやすく、情報（講義内容）を伝えるため

学生に深い理解を促す講義

書籍の活用，
レジュメの配付，
板書，スライド投影

時短方法

ICT機器，
公開教育教材，
補助教材動画

なぜCEEDでは動画などのコンテンツ制作を推進するのか？

- 大学教育でまだ一般的とはいえない情報伝達手段だが、うまくやれば学生にわかった！を強く促すことが、初等中等教育で実証されているから

新しい情報伝達手段を活用して
講義をデザインしてみては？

どのようなコンテンツ制作をするのか？

- 学生と対面する講義90分間の場で、役に立つコンテンツを制作する
 - 講義内容の一部，基礎知識範囲を動画化して対面90分講義から省く
 - 講義内容の全部を動画化して，別の機会に代替する
 - 日本語の講義内容を動画化して，英語講義受講者の復習を勧める
 - …など，その他ご要望に応じて
- 既存のコンテンツで良いと感じるものを参考にする
 - <https://www.youtube.com/watch?v=L0eZrjaqnEI>
(場合によってはそのまま講義で使えるものがあるかも？)

前半まとめ

CEEDのeラーニングシステム開発部は
大学講義補助教材の制作代行業者
みたいなものなんだな～

と，思っていただければおおむね
間違いはない

おわり

制作方法その 1

- 教室を端から端までいったりきたり
- 学生さん（役の皆様）に質問を試みたり
- 板書をしたり
- 指し棒を使ったり
- webにアクセスして動画を流したり

対面講義をそのまま収録して，講義内容を動画化

模擬講義その 1

- どなたかお一人にご協力をお願いする
- 2～3分程度で，講義もしくは研究室ゼミを想定
- この場で収録し，本FDのうちに編集を完了して出来上がりを見ていただく

『対面講義をそのまま収録すること』の考察

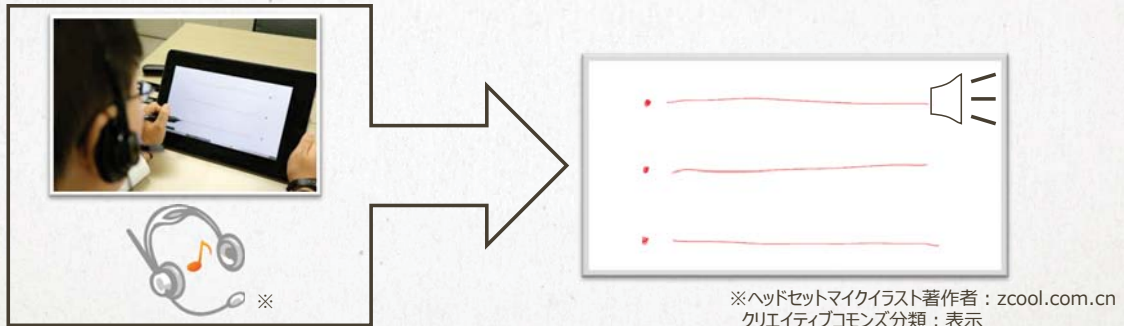
- 教員にとっての利点
 - 講義時間と収録時間が同時なので，別途機会を設ける必要がない
- 教員にとっての欠点
 - 対面学生の理解度に応じて補足を加えたりした結果，動画コンテンツとして見れば内容に偏りが生じる場合がある
- 学生にとっての利点
 - 講義中に理解しきれなかった点を反復視聴して復習できる
- 学生にとっての欠点
 - 収録機材があることで，緊張感や圧迫感を受ける可能性がある

本日の話題（後半）

- 制作方法その2
- コンテンツ制作における著作物への配慮
- 著作権法に違反しないコンテンツを制作するには？
- CEED案件で著作権法違反コンテンツのよくある例
- 著作権法違反コンテンツを適切使用例にする
- 後半まとめ
- 模擬講義その2
- 『タブレットで講義内容を動画化すること』の考察

制作方法その2

- PCのデスクトップ映像に音声を同期させる制作方法
 - 必要機材はPC端末1台とマイクのみで，手軽に制作できる



タブレットで時と場所を選ばず，講義内容を動画化

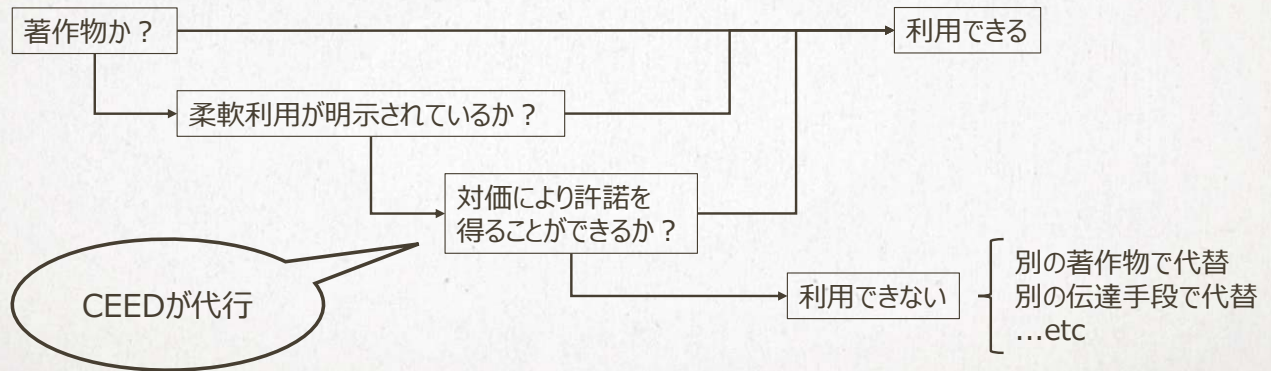
コンテンツ制作における著作物への配慮

- 通常の大学講義，対面講義受講学生に対して提供する教育においては，おおむね著作物の権利行使が制限されている

では， **インターネット** では？
制限規定には， **含まれていない** 。
つまり，著作権法では **違法になる** 。

著作権法に違反しないコンテンツを制作するには？

- 教育や研究は、過去の英知や実績があつてこそ

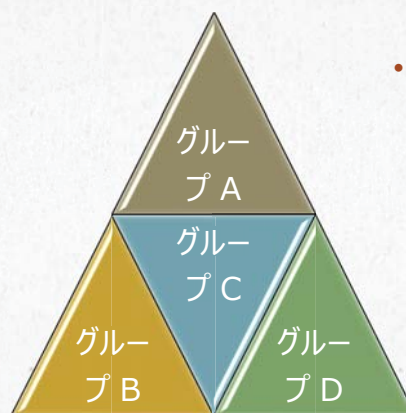


※例外：誹謗中傷等，社会通念上許されない行為はどのような場合でもNG

CEED案件中著作権法違反コンテンツのよくある例



- この写真，誰が撮ったんだろう...google検索にヒットしたんだし公開目的でしょ，まあいいや



- 本に載っていたこの絵，そのまま使おう



- 学生のウケがいいから初音ミクのマークをスライドに貼っておこう！

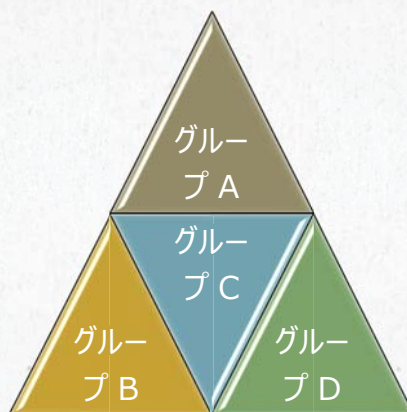


北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

著作権法違反コンテンツを適切使用例にする



撮影者：角井博則
(使用許諾取得済み)



〇〇出版社 著△△氏 ××の本 xx頁 図〇〇 ISBN~~

- ※実際の引用情報：上記図はMicrosoft社 Office365proplusのSMARTART

- 北海道大学の教職員が、大学の業務において使用することが認められているシンボルマーク

後半まとめ

インターネットを検索するだけで簡単に著作物を複製できるようになり、自身にそのつもりが無くても権利侵害をしてしまっていることがある

CEEDではコンテンツ制作に係る著作物の権利処理も手掛けていますので、不明点があればお気軽にご相談いただきたい

おわり

模擬講義その2

- どなたかお一人にご協力をお願いする
- 2～3分程度で、話しながら協調したい箇所に線を引いたり、スライドに記載のないことを補足してみる
- 数式や図示など、板書も試してみただいて構わない
- この場で収録し、本FDのうちに編集を完了して出来上がりを見ていただく

『タブレットで講義内容を動画化すること』の考察

- 教員にとっての利点
 - 時間や場所を選ばず、自身の都合に応じて少しずつ制作できる
- 教員にとっての欠点
 - 音声とタブレット画面のみで効率よく講義内容を伝えるため、台本や演出などの事前準備に要する時間を、対面講義のそれとは別に設けなければならない
- 学生にとっての利点
 - 講義中に理解しきれなかった点を反復視聴して復習できる
- 学生にとっての欠点
 - 教員の身振りや表情が見えず、手書き量によっては単調なコンテンツになる

コンテンツの活用に向けてケーススタディ

- 質疑応答形式。皆様の講義スタイルを伺い、コンテンツ活用を模索

【質疑応答のヒント】

- 講義は15回収録しなければならないか？
- 動画は講義時間と同じく90分でなければならないか？
- 外部講師でも収録可能か？
- スライド中心でなければコンテンツにできないのか？
- 黒板授業でもよいのか？
- 実験や演習形式でもよいのか？
- 著作物の引用が非常に多数でも大丈夫か？
- 著作物の許諾手続きは具体的にどんなことをしているのか？
- 退職や異動により北大教員でなくなった場合はどうするのか？
- コンテンツ視聴者の理解度確認はどのようにするのか？

模擬講義編集後の出来上がりを見る

- 本セミナー担当のコンテンツ制作講義 そのまま収録成果物
- 制作方法その1 協力教員の模擬講義 そのまま収録成果物
- 本セミナー担当の著作権講義 タブレット収録成果物
- 制作方法その2 協力教員の模擬講義 タブレット収録成果物

CEEDについて

CEED eラーニングシステム開発部
工学部L棟2階 L202室
内線7168



Mail: ceed-con@eng.hokudai.ac.jp



配信科目一覧

List of Broadcast Courses (The English version on the back.)

2015.4.1 現在

工学院

応用物理学専攻

光物性特論
半導体量子情報特論*
超高速量子光学特論*

材料科学専攻

材料ナノ表面解析特論
エコプロセス特論
機能材料工学特論
エネルギーシステム工学特論
材料数理工学特論*
高温材料物理化学特論*

機械宇宙工学専攻

分子流体力学特論 [E]
計算流体力学特論

人間機械システムデザイン専攻

構造ダイナミクス特論
先端材料メカニクス特論
バイオメディカルエンジニアリング特論 II
セルマイクロメカニクス特論*

エネルギー環境システム専攻

流体エネルギー工学特論 [E]
流れの遷移と制御特論 [E]
原子炉物理特論
原子炉工学特論 [E]

量子理工学専攻

加速器科学特論
表面ナノ科学特論 [E]

機械系大学院共通科目

システム最適設計特論 I
システム最適設計特論 II
画像工学特論
原子力・エネルギーシステム特論 [E]

北方圏環境政策工学専攻

計画数理工学特論 [E]

環境創生工学専攻

水環境施設工学特論 [E]
環境微生物工学特論 [E]
大気環境工学特論
廃棄物処理工学特論
環境評価学特論

環境循環システム専攻

資源生産システム特論
選鉱・リサイクル工学特論
広域シミュレーション特論* [E]

情報科学研究科

情報理工学専攻

知識ベース特論
情報知識ネットワーク特論
アルゴリズム特論
情報認識学特論
情報解析学特論
大規模分散計算科学特論
知能ソフトウェア特論
調和系工学特論
ヒューマンコンピュータインタラクション特論
超高速計算機網工学特論
情報システム設計学特論
先端ネットワーク特論
先端データ科学特論
表現系工学特論* [E]
知性創発発達特論*
計算機アーキテクチャ工学特論*
情報解析学特論 (～H25)*
プログラム理論特論*
計算基礎特論*
計算数理工学特論*

情報エレクトロニクス専攻

固体物性学特論
光電子物性学特論
量子物性学特論
光デバイス学特論
先端デバイス学特論
集積プロセス学特論
光子材料科学特論
光情報システム学特論
システム L S I 学特論

生命人間情報科学専攻

ゲノム情報科学特論
細胞生物学特論
バイオイメージング特論
脳神経科学特論
ナノイメージング特論
機能バイオインフォマティクス特論*
人間機能情報学特論*
バイオメカニクス特論*

メディアネットワーク専攻

自然言語処理学特論
メディア表現論特論
情報メディア環境学特論
ネットワークシステム特論 [E]
フォトニックネットワーク特論

システム情報科学専攻

システム制御理論特論
ヒューマンセントリックシステム特論
システム環境情報学特論 [E]
電気エネルギー変換特論
電力システム特論
電磁工学特論
システム情報設計学特論*

情報科学研究科共通科目

プロジェクトマネジメント特論
パーソナルスキル特論
プロジェクト計画特論 1*
プロジェクト計画特論 2*
プロジェクト運営特論*
ソフトウェア開発プロセス特論 2*

総合化学院

生物化学コース

応用生物化学 A (動物細胞培養工学)

工学部

機械知能工学科

熱力学 I
原子炉工学

情報エレクトロニクス学科

線形システム論

* 最新年度のシラバスには掲載されていない科目です
[E] 英語コンテンツあり
最新の配信科目一覧はCEEDホームページを参照して下さい
<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/e-learning/watch/course>



e ラーニングシステム利用手順

Registration Procedure of CEED's e-Learning System

1 CEEDで検索！ Search for "CEED."



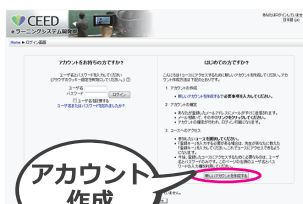
システム
利用マニュアル
(学生向け)
System User Manual
(for Students)

<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>

システム利用マニュアル(学生向け)をよく読んで下さい。

See the "System User Manual (for Students)."

2 アカウント作成をします！ Create your system account.



アカウント
作成
Create new account

<http://el.ceed.eng.hokudai.ac.jp/>

システムで必要事項を入力して送信すると、登録メールアドレスにメールが届きます。メール本文中のURLからアカウント登録を完了して下さい。

※携帯メールアドレスの場合、システムからのメッセージが正しく届かない場合があるため、可能であれば避けて下さい。

Fill in the required fields and submit it. And then an Email is delivered to you. Connect to the received URL and complete the account registration.

*When you register with your cellphone Email address, you can not receive messages from this system in some cases.

3 受講申請をします！ Apply for enrollment in courses.

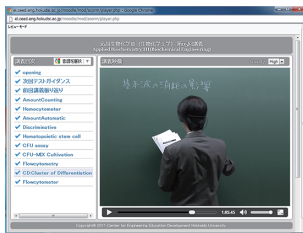


受講申請
Enrollment application

システムの受講申請フォームから、視聴したい科目を選択して送信して下さい。システム管理者が確認の後、登録完了のメッセージをお送りします。

Fill out the required information and select courses that you would like to add your list from the enrollment application form and submit it. After the administrator checks it, send a message of registration completion.

4 これで視聴できます！ View your e-Learning courses.



視聴できるようになりました。当該年度内は、予習や復習に何度でも利用可能です。

Now you can view e-Learning courses that you applied. You can view them repeatedly for your preparation & review within the said year.



推奨視聴環境

System requirements

2015.4.1 現在

As of April 1, 2015

端末：Windows7, MacOSX10.7(Lion), iOS7.1以降

ブラウザ：InternetExplorer9以降, GoogleChrome, Firefox, Safari(Mac)

通信環境：ADSL(12Mbps)以上

Operating system: Windows 7, MacOSX10.7 (Lion), iOS7.1 or later

Internet browser: Internet Explorer 9 or later, Google Chrome, Firefox, Safari (Mac)

Internet connection: ADSL (12 Mbps) or higher

北海道大学 工学系教育研究センター e ラーニング 受講案内

CEED's e-learning



北海道大学 大学院工学研究院
工学系教育研究センター e ラーニングシステム開発部
Center for Engineering Education Development (CEED)
e-Learning System Development Department
Faculty of Engineering, Hokkaido University

〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目
北海道大学 工学部 L棟2階 L202室
Room L-202, The second Floor, L Building,
School of Engineering, Hokkaido University
Kita 13, Nishi 8, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-8628, Japan

TEL: 011-706-7168

✉ ceed-con@eng.hokudai.ac.jp

🏠 <http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>



CEED

START

あなたは北大の工学院
または情報科学研究科の
社会人学生ですか？
Are you a current part-time HU student
(with jobs) of the Graduate School of
Engineering and IST^[2] living in remote
locations?

NO

あなたは北大の工学院
または情報科学研究科の
大学院生ですか？
Are you a current HU student of the
Graduate School of Engineering and
IST^[2]?

NO

あなたは北大の工学部生
ですか？
Are you a current HU undergraduate
student of engineering?

NO

北大生なら誰でも視聴できます！
Any current HU students can view courses.

他学部生でも、北大生*であれば誰でも簡単
な手続きで講義動画を視聴できます。
受講申請の際に学生番号の入力が必要です。

*聴講生や科目等履修生等も含まれます。

Any current HU students* including non-Engineering students can
view them upon approval of an application.
Student Number is required for the application for enrollment in a
course.

*Including auditing students and credited auditors.



単位認定に利用できます！
Available for credit recognition.

遠隔地に居住している社会人学生や科目等履
修生、留学・インターンシップ・就職活動な
どのやむを得ない理由で対面授業に出席でき
ない大学院生は、指導教員と科目担当教員の
許可があれば、eラーニングを利用した単位
認定が可能です。
制度については、学生便覧やCEEDホームペ
ージをご覧ください。お気軽にCEEDまで
お問い合わせ下さい。

Students who have difficulty in attending regular face-to-face
classes due to unavoidable reasons, such as part-time students
(with jobs) living in remote locations and students who are away
from the campus such reasons as studying abroad, internships or
job hunting can earn credits by using e-Learning resources with
approval of both the course instructor(s) and their supervisors.
For further information, see the Student Manual and our website
or contact us.



留学・インターンシップなどで、
やむを得ず講義を欠席しますか？
Do you have difficulty in attending regular
face-to-face classes because of studying abroad or
internships?

YES

NO

予習・復習に使えます！
Available for preparation & review.

対面授業の予習・復習にeラーニングを活用
しましょう！多くの教員がeラーニングを対
面授業の受講生に推奨しています。

If you attend regular face-to-face classes, you make good use of
e-Learning courses for preparation & review.
Many teachers recommend students who attend regular
face-to-face classes to view them as ancillary materials.



学部授業も配信しています！
Undergraduate courses also available.


工学部の講義動画も配信しています！
また、学部生でも大学院講義を視聴できるの
で、進路選択の参考になります。

※平成27年度から、やむを得ない理由で対面授業に出席でき
ない工学部生も、eラーニングを利用した単位認定が可能に
なりました。制度についてはCEEDまでお問い合わせ下さい。

CEED broadcasts lecture videos of the School of Engineering. And
also viewing graduate courses helps undergraduate students select
their majors.

* Undergraduate students of engineering who have difficulty in
attending regular face-to-face classes due to unavoidable reasons
have been able to earn credits by using e-Learning resources since
the 2015 academic year. For further information, contact us.



 **eラーニングとは？**
What is e-Learning?

パソコンやインターネットを利用した教育方法です。
CEEDでは、工学院・情報科学研究科・工学部の講義動画を多数用意し
ています。

e-Learning refers to education provided electronically using PCs and the Internet.
CEED broadcasts many lecture videos of the School of engineering and the Graduate School of
Engineering and IST^[2].

 **インターネット経由でどこでも講義が視聴できる！**
Anytime anywhere via the internet.

パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットでも視聴できます。
自宅や外出先など、好きな時間に好きな場所で学習可能です。


Users can view e-Learning courses using not only PCs but also smart phones or tablet devices. e-Learning
enables them to learn anytime anywhere.

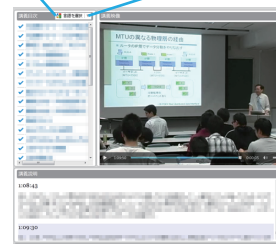
 **講師の発言内容をテキストに掲載！**
With the transcription of lecture contents.

講師の発言内容をテキストにした科目も用意しており、Google翻訳機
能で簡単に数十カ国の言語に変換できます。
外国語圏の方や耳の不自由な方で、
日本語の講義を理解するのが困難な
場合でも、補助教材として活用できます。

※翻訳精度はGoogle翻訳に依存します。あくまでも
補助教材としての提供であり、翻訳された用語を論文
等へ活用することはお控えください。

CEED broadcasts some lectures which have transcriptions,
allowing users to select a language of their choice with
Google's online translations service.
For the deaf and non-native Japanese speakers, it can be
used as a supplemental material.
*The accuracy of translation depends on Google's
translation system. We recommend that you use it as just a
supplemental material not for writing your papers.

 **言語を選択**



Powered by Google™ Google Translate™ 翻訳サービス

Graduate School of Engineering

Division of Applied Physics
Optical Properties of Materials
Semiconductor Quantum Informatics*
Ultrafast Quantum Optics*

Division of Materials Science and Engineering
Nano Scale Analysis of Materials
Eco-Processing, Advanced
Advanced Energy Materials
Advanced Energy System Engineering
Mathematical Foundations of Materials Design*
Physico-chemical Properties of
High Temperature Materials*

Division of Mechanical and Space Engineering
Molecular Fluid Dynamics [E]
Computational Fluid Mechanics

Division of Human Mechanical Systems and Design
Machine and Structural Dynamics
Mechanics of Advanced Materials
Biomedical Engineering II
Advanced Cell Micromechanics*

Division of Energy and Environmental Systems
Fluid Power Systems [E]
Flow Transition and Control [E]
Nuclear Reactor Theory
Nuclear Reactor Engineering [E]

Division of Quantum Science and Engineering
Accelerator Science
Surface Nano Science [E]

**Subject Group of Mechanical and
Intelligent System Engineering**
Optimization and Design I
Optimization and Design II
Image Processing
Nuclear and Various Energy Systems [E]

**Division of Engineering and Policy for
Sustainable Environment**
Advanced Mathematical Methods for Planning [E]

Division of Environmental Engineering
Water and Wastewater Treatment System [E]
Environmental Biotechnology [E]

Advanced Lectures on
Atmospheric Environment Engineering
Solid Waste Management
Methodology of Environmental Assessment

Division of Sustainable Resources Engineering
Production System of Environmental Resources
Mineral Processing and Resources Recycling
Advanced Numerical Simulation for Global Field* [E]

Graduate School of Information Science and Technology

**Division of Computer Science and
Information Technology**
Knowledge Base
Information Knowledge Network
Theory and Practice of Algorithms
Pattern Recognition and Machine Learning
Information and Data Analysis
Large-Scale Discrete Computation
Intelligent Software
Harmonious Systems Engineering
Human-Computer Interaction
High-performance and
High-speed Network Computing
Information Systems Design
Advanced Information Network Systems
Advanced Data Science
Advanced Formative Systems Engineering* [E]
Emergence and development of Intelligence*
Advanced Computer Architecture*
Introductory Functional Analysis for
Mathematical Science (-2013)*
Advanced Theory of Programs*
Foundations of Informatics*
Advanced Computational Mathematics*

Division of Bioengineering and Bioinformatics
Genome Informatics
Cell and Tissue Engineering
Bioimaging
Neuroscience and brain function
Nanoimaging
Bioinformatics and Bio-Databases*
Human Function and Bio-informatics*
Biomechanics*

Division of Media and Network Technologies
Natural Language Processing
Media Representation Theory
Information Media Environment
Network Systems [E]
Photonic Network

Division of Systems Science and Informatics
Systems Control Theory
Human-centric Systems
Informatics for Systems and Environment [E]
Electric Energy Conversion
Electric Power Systems
Advanced Applied Electromagnetics
Advanced Information Modeling*

**Courses open to all divisions of the Graduate
School of Information Science and Technology**
Project Management Basis
Personal Skills for Project Management
Project Planning 1*
Project Planning 2*
Project Execution and Monitoring*
Software Development Processes 2*

Graduate School of Chemical Sciences and Engineering

Biological Chemistry and Engineering Course
Applied Biochemistry A (Cell Processing Engineering)

School of Engineering

**Department of Mechanical and
Intelligent System Engineering**
Thermodynamics I
Nuclear Reactor Engineering

**Department of Electronics and
Information Engineering**
Linear System Theory

Other

Graduate School Common Course
Special Lecture on Solid Waste Recycling and Disposal
New Science by Computational Science

General Education
Environmental Issues and Nuclear Technology / Ethics

Aids to Learning
Computer Engineering
Cutting-edge voice information processing
PARE Program (for Engineering Students)

[1] Lectures of the Undergraduate School of Engineering and the Graduate School of Engineering and
Information Science and Technology.
[2] Information Science and Technology

北海道大学工学系教育研究センター
平成27年度 活動報告書 資料集

平成28年3月発行

発行 北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター
札幌市北区北13条西8丁目

電話 011-706-7163 FAX 011-706-6929

工学系教育研究センターホームページ <http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/>
